

取扱説明書

6.1V型ワイドVGAモニター/DVD-V/VCD/CD/USB/チューナーメインユニット

FH-780DVD

ご購入いただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。

登録は弊社ホームページにて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。

<http://pioneer.jp/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をさせていただいたお客様にいたします。

必ず登録をしていただきますようお願いいたします。



Made for



iPod





iPhone




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

AV-001-001

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V \oplus アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対には使用しない

これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す
 \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前には、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしな

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

リアモニターの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。



警告



禁止

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、プレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。



注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

電池は正しく使う



警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。



注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加熱をしたり、火や水の中に入れない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。

指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する

液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

目次

はじめに.....7

本機の特徴.....	7
安全走行のために.....	7
バッテリー上がりを防ぐために.....	7

共通操作.....8

各部の名称とはたらき.....	8
ホーム画面について.....	9
ソース選択タッチキー.....	9
設定メニュー選択タッチキー.....	9
その他タッチキー.....	9
ソース画面.....	9
メニュー設定画面.....	9
共通のタッチキー.....	10
ソースのON/OFF.....	10
ソース ON.....	10
ソース OFF.....	10
ディスクの出し入れ.....	10
ディスクの入れかた.....	10
ディスクの取り出しかた.....	10
時計の設定.....	10

基本操作..... 11

FMラジオ / AMラジオ.....	11
DVDビデオ.....	11
DVD-VR、ビデオCD、 DivX、MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4.....	12
CD、WMA、MP3、AAC、WAV、JPEG.....	13
iPod.....	14
AUX、AV.....	15
外部機器の接続.....	15

ソース別操作..... 16

バンドを切り換える Radio	16
放送局を選ぶ Radio	16
マニュアル選局.....	16
プリセット選局.....	16
受信状態の良い放送局を自動で登録する Radio	16
プリセットチャンネルを登録する Radio	16
交通情報を受信する (TI) Radio	16
見たい (聞きたい) 場所を指定して再生する Disc ... 17	17
ワイド画面の拡大方法を切り換える Disc USB/iPod AUX AV	17

コマ送り / スロー再生する Disc USB/iPod	17
コマ送り再生.....	17
スロー再生.....	17
DVDディスクのディスクメニューを操作する Disc	18
ディスクメニュー用タッチキーを使った操作.....	18
DVDメニューダイレクトタッチ機能を使った操作.....	18
再生中に音声や言語を切り換える Disc	18
再生中に字幕言語を切り換える Disc USB/iPod	18
音声の出力方法を切り換える Disc	18
再生中にアングルを切り換える Disc	19
リピート再生する Disc USB/iPod	19
メディアを切り換える Disc USB	19
ブックマークを登録する Disc	20
リストから選んで再生する Disc USB	20
ランダム再生する Disc USB	20
画像をキャプチャーする USB	20
カテゴリを選んで曲をさがす USB	20
関連した曲を探す USB/iPod	21
iPodミュージックと iPodビデオを切り換える iPod	21
ミュージックモードに切り換える.....	21
ビデオモードに切り換える.....	21
曲 / 映像を探す iPod	21
iPod ミュージックから探す.....	21
iPod ビデオから探す.....	22
iPodを操作して本機で再生する iPod	22

便利な機能..... 23

バックカメラを使う.....	23
リバース連動でバックカメラの映像を表示する.....	23
リアビューモードでバックカメラの映像を表示する.....	23
リアモニターを使う.....	23
リアモニターの設置場所について.....	23
タッチパネルの誤差を補正する.....	23
カスタムメニューを使う.....	24

ビデオ設定..... 24

ビデオ設定メニューを表示する.....	24
字幕言語 / 音声言語 / メニュー言語を設定する.....	24
マルチアングルマークの表示 / 非表示を切り換える.....	25
テレビアスペクトを設定する.....	25
スライドショーの表示間隔時間を設定する.....	25
視聴制限 (パレンタルロック) を設定する.....	25
DivX 字幕の表示方法を切り換える.....	26
DivX VODの登録コードを確認する.....	26
レジストレーションコードを表示する.....	26
ディレジストレーションコードを表示する.....	26
オートプレイを設定する.....	27

オーディオ設定 27

オーディオ設定メニューを表示する.....	27
前後左右の音量バランスを調節する.....	27
グラフィックイコライザーを使う.....	28
音場を調整する.....	28
小さな音を聞きやすくする.....	28
サブウーファーを設定する.....	28
低い音を強調する.....	29
低い音を出力しないようにする.....	29
各ソースの音量をそろえる.....	29

システム設定 30

システム設定メニューを表示する.....	30
AUX 入力を設定する.....	30
AV 入力を設定する.....	30
MIXTRAX を設定する.....	30
効果音をプリセット登録する.....	31
画像の画質を調整する.....	31
デモモードを設定する.....	32
リアスピーカー出力を設定する.....	32
タイトルスクロールを設定する.....	32
バックカメラの極性を設定する.....	32
映像信号を設定する.....	32
放送局名を選ぶ.....	33

デザイン設定 33

デザイン設定メニューを表示する.....	33
壁紙を設定する.....	33
ボタンのイルミネーションを設定する.....	33
メニューデザインを設定する.....	33

接続・取り付け 34

接続・取り付け上のご注意.....	34
接続・取り付け部品を確認する.....	34
本体関係.....	34
コード関係.....	34
取り付けの前に知ってほしいこと.....	34
取り付け上のご注意.....	34
取り付けのポイント.....	34
接続の前に知ってほしいこと.....	35
接続上のご注意.....	35
接続のポイント.....	35
コネクタ着脱のポイント.....	35
システムの接続 (1).....	36
システムの接続 (2).....	38
リアスピーカー出力に サブウーファーを接続する①.....	40
リアスピーカー出力に サブウーファーを接続する②.....	41
外部アンプの接続.....	42
外部映像機器・iPod・リアモニターの接続.....	43
本体を取り付ける.....	44

動作を確認する.....	44
--------------	----

付録 45

再生可能なメディアとファイルについて.....	45
メディア内のフォルダー構成について.....	46
DivX ビデオオンデマンドについて.....	46
JPEG ファイルについて.....	46
ディスクについて.....	47
取り扱い上のご注意.....	47
お手入れについて.....	47
保管上のご注意.....	47
ディスク再生の環境について.....	47
使用できないディスクについて.....	47
再生できないディスクについて.....	47
DVD に表示されているマークの意味.....	47
DVD-VR について.....	48
USB 機器について.....	48
本機との接続について.....	48
保管上のご注意.....	48
iPod について.....	48
本機が対応する iPod.....	48
iPod の設定について.....	48
液晶画面の正しい使いかた.....	49
取り扱い上のご注意.....	49
液晶画面について.....	49
LED バックライトについて.....	49
お手入れについて.....	49
言語コード.....	49
故障かな?と思ったら.....	51
共通項目.....	51
ラジオ.....	52
DVD.....	52
ビデオ CD.....	53
CD.....	53
USB.....	53
iPod.....	54
こんなメッセージが表示されたら.....	54
共通項目.....	54
ディスク.....	54
USB 機器.....	55
iPod.....	56
保証書とアフターサービス.....	57
保証書.....	57
保証期間.....	57
修理について.....	57
補修用性能部品の最低保有期間.....	57
ご質問、ご相談は.....	57
商標・著作権など.....	57
用語解説.....	58
仕様.....	59

はじめに

本機の特徴

タッチパネル操作対応

ディスプレイ部は、タッチパネル操作に対応しています。直感的な操作を実現できます。

DVD メニューダイレクトタッチ対応

DVD ディスクを挿入したときに表示されるメニューの操作を、タッチ操作で行えます。希望の項目にタッチするだけで操作が可能です (→ P18)。

DVD ディスクによっては、ダイレクトタッチ操作に対応していないものもあります。

DVD ビデオ再生対応

DVD ビデオの再生に対応しています。市販の DVD ビデオだけでなく、ビデオモードおよびビデオ録リングフォーマット (VR モード) で録画された DVD-R/RW の再生にも対応しています。

ビデオ CD 再生対応

ビデオ CD の再生に対応しています。

DVD-VR 再生対応

ビデオ録リングフォーマット (VR モード) で記録された DVD-R DL (デュアルレイヤー) ディスクの再生に対応しています。ただし、レイヤージャンプモードには対応していません。

CD 再生対応

音楽 CD の再生に対応しています。また、音楽 CD のデータが記録された CD-R/RW の再生に対応しています。

- CD TEXT に収録された、タイトルや歌手名などの文字情報表示には対応していません。

WMA/MP3/AAC/WAV ファイル再生対応

WMA/MP3/AAC ファイルが記録された DVD-R/RW/ROM、CD-R/RW/ROM、USB 機器の再生に対応しています。また、WAV ファイルが記録された USB 機器の再生に対応しています。ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です (→ P45)。

DivX®/MPEG-1/MPEG-2/MPEG-4

DivX/MPEG-1/MPEG-2/MPEG-4 ファイルが記録された CD-R/RW/ROM、DVD-R/RW/ROM、USB 機器の再生に対応しています。

- 拡張子が「.MP4」の MPEG-4 ファイルはサポートしていません。

JPEG ファイル再生対応

JPEG ビクチャファイルが記録された USB 機器の再生に対応しています。

USB 機器の接続

USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB Mass Storage Class 対応の USB メモリーに収録された WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生できます。対応する USB 機器や接続時のご注意については、P48 をご覧ください。

iPod の接続

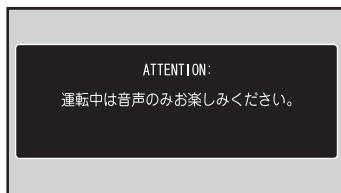
iPod を本機の USB ポートに接続して操作できます。本機からの操作はもちろん、iPod からの操作も可能です。対応する iPod や接続時のご注意については、P48 をご覧ください。



- 本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。

安全走行のために

パーキングブレーキの ON / OFF を検知しており、走行中に映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)

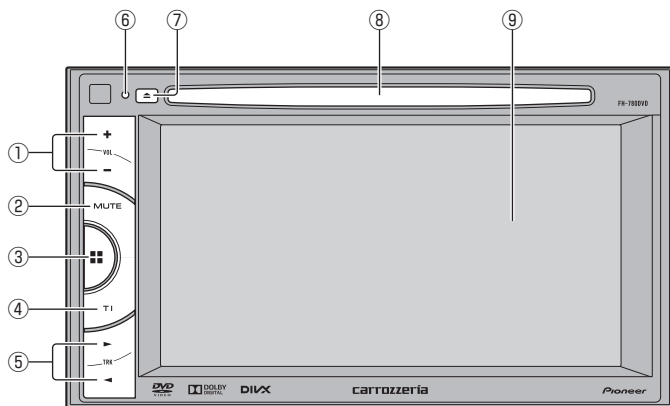


メッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、設定内容は消去されます。

各部の名称とはたらき



① 【+/- VOL (音量) ボタン

音量を調節します。

② 【MUTE】 ボタン

音量を一時的に下げます。もう一度押すと、解除されます。

ソース OFF のときに長く押すと、デモモードを ON/OFF します (→ P8)。

③ 【■ (ホーム)】 ボタン (→ P9)

ホーム画面を表示します。

ソースが OFF のときに長く押し、キャリブレーション設定を行います (→ P23)。

④ 【TI】 ボタン (→ P16)

交通情報を受信します。

⑤ 【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】 ボタン

再生する曲や映像の選択、放送局の選択を行います。長く押すと早戻し/早送りや放送局の自動選局を行います。

⑥ リセットボタン

先の尖ったもので押すと、本機は初期状態に戻ります。

✎ 初期状態に戻ると、設定内容は消去されます。

⑦ 【▲ (イジェクト)】 ボタン (→ P10)

ディスクが挿入されているときに、ディスクを取り出します。

⑧ ディスク挿入口

CD や DVD ディスクを挿入します (→ P10)。

⑨ 画面

6.1 インチのワイド液晶画面です。

■ 本機の電源について

本機に電源ボタンはありません。車のエンジンスイッチを ON (ACC を ON) にすると自動的に電源が入り、エンジンスイッチを OFF にすると切れます。

■ デモモードについて

デモモードは、本機がソース OFF のときに、各ソースや本機の機能を表示する機能です。デモを解除するには、ソース OFF のときに、【MUTE】 ボタンを長く (約 2 秒) 押します。もう一度長く押すと、デモが始まります。デモを表示しないようにするには、設定を OFF にします (→ P32)。




- 赤リード線 (アクセサリ電源) は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください (→ P36)。車のイグニッションスイッチと本機の電源を OFF にしても、デモが表示され、バッテリー上がりの原因となります。

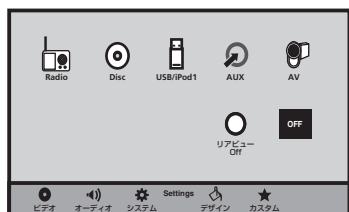
- 車のエンジンを止めた状態で、デモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因となります。

- 運転中のデモモードは、前方不注意などの原因となる場合があります。運転中はデモモードを解除するか、設定を OFF にしてください。







ホーム画面について

【 (ホーム)】 ボタンを押すとホーム画面が表示されます。この画面でソースの選択 (ソース ON) や設定メニューの選択を行います。






選択は画面に表示されるタッチキーにタッチして行います。




■ ソース選択タッチキー

[]	ラジオを選択する (→P11)
[]	ディスクを選択する (→P11,12,13)
[]	USB/iPod を選択する (→P12,13,14)
[]	AUX を選択する (→P15)
[]	AV を選択する (→P15)
[]	ソースを OFF にする (→P10)

■ 設定メニュー選択タッチキー

[]	ビデオ設定メニューを選択する (→P24)
[]	オーディオ設定メニューを選択する (→P27)
[]	システム設定メニューを選択する (→P30)
[]	デザイン設定メニューを選択する (→P33)
[]	カスタムメニューを選択する (→P24)

■ その他タッチキー

[]	バックカメラ映像に切り換える (→P23)
--	-----------------------

- ディスクがセットされていないときは、Disc ソースの選択はできません。
- システム設定メニュー (→P30) の AUX 入力設定または AV 入力設定が「On」に設定されていないと、AUX ソースの選択または AV ソースの選択はできません。
- システム設定メニューのカメラ極性設定が「High」または「Low」に設定されていないと、バックカメラ映像の切り換えはできません (→P32)。
- USB/iPod アイコンは、機器の接続状態によって表示が変わります。
 - USB 機器を接続 : 「USB」
 - iPod を接続 : 「iPod」
 - 接続されていない : 「USB/iPod」
- Disc ソースが ON になっていないと、ビデオ設定メニューは選択できません。




ソース画面

ソースの ON/OFF 操作により、以下の画面が表示されます (→P10)。

(例 : ラジオを ON)



ソース画面で表示される共通のタッチキーには以下のものがあります。

[]	タッチするとソース選択タッチキーを表示 (→P10)
[]	ソース ON : イコライザーカーブを切り換える オーディオ設定メニューで設定したカーブが反映 (→P28)
[]	日付/時刻を表示 タッチして時計設定画面に切り換える (→P10)

- カスタムメニュー選択タッチキー (→P9) もソース画面に表示されます。

メニュー設定画面

メニュー選択タッチキーをタッチすると、以下の画面が表示されます。





(例 : システム設定メニュー)




スクロールアイコン
画面を送り、隠れているリストを表示する

スクロールバー
スクロールポイントを表示
ドラッグ操作でスクロール



メニュー設定画面で表示される共通のタッチキーには以下のものがあります。

[]	ビデオ設定メニューを表示 (→P24)
[]	オーディオ設定メニューを表示 (→P27)
[]	システム設定メニューを表示 (→P30)
[]	カスタムメニューを表示 (→P24)

 • Disc ソースが ON になっていないと、ビデオ設定メニューは選択できません。

共通のタッチキー

設定画面などで表示される、すべての操作に共通のタッチキーです。

[]	ソース画面に戻る
[]	前の画面に戻る

ソースの ON/OFF

■ ソース ON


エンジンスイッチを ON にすると、前回使用していたソースが ON になります。

前回ソース OFF の状態で、エンジンスイッチを OFF にした場合、再びエンジンスイッチを ON にすると、ソースは OFF のままとなります。ソースを ON にするには、以下の操作を行います。

1 ホーム画面を表示する (→P9)

2 ソースを選んでタッチする


選んだソースが ON になります。

 • USB 機器または iPod を接続すると、自動で再生が始まります。
• ソースによっては、時間が経過するとタッチキーが画面から消える場合があります。再度タッチキーを表示するには、画面にタッチしてください。

3 別のソースにするときは、[] にタッチする

ソース選択タッチキーが表示されます。



 • 現在選択できないソースの、ソース選択タッチキーは表示されません。

4 ソースを選んでタッチする

選んだソースが ON になります。

■ ソース OFF

ソースを OFF にするには、以下の操作を行います。

1 ホーム画面を表示する (→P9)

2 [] にタッチする


ソースが OFF になります。

ディスクの出し入れ


■ ディスクの入れかた


1 レーベル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込む

ディスクを挿入すると、挿入されたディスクを自動判別して、再生が始まります。

 • 8 cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した 8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。
• ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを絶対に入れてください。故障の原因となります。

■ ディスクの取り出しかた

[] (イジェクト) ボタンを押すと、ディスクが出てきます。

 • 取り出したディスクは、ケースなどに入れて保管してください。

時計の設定

1 ソース画面で [13 APR PM 12:25] にタッチする (→P9)

2 設定する項目にタッチする

左から順に以下の項目になります。

年 (西暦)、月、日、時、分、AM/PM

3 [] または [] にタッチして、日付や時間を修正する

AM と PM は、項目にタッチするたびに切り替わります。

4 [] にタッチする

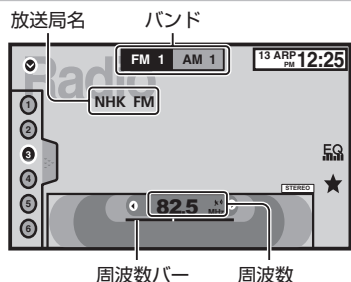
ソース画面に戻ります。

基本操作

DVD ビデオ

FM ラジオ / AM ラジオ

代表的な画面



使用する主なタッチキー

[FM 1] [AM 1]	バンドを切り換える タッチするたびに、バンドが切り換わります。 FM1 ↔ FM2 AM1 ↔ AM2 (→ P16)
[①] ~ [⑥]	プリセットチャンネルを選ぶ (→ P16)
[◀] [▶]	周波数を順に切り換えて手動選局する 長くタッチすると自動選局する (→ P16)
[]]	プリセットされた放送局の周波数を表示する (→ P16)

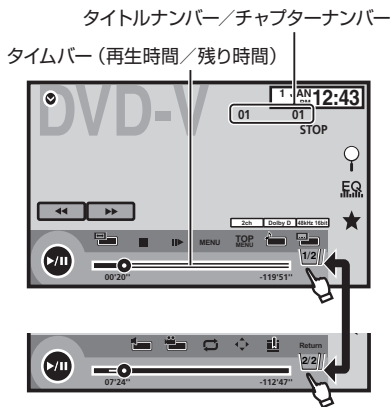
本体ボタンでの操作

プリセットチャンネルを切り換えるときは、【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】ボタンを押します。

自動選局をするときは、【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】ボタンを長く押しします。

- 本機のアンテナコントロール線の接続状態によっては、ラジオが受信できない場合があります (→ P36)。

代表的な画面



使用する主なタッチキー

[♀]	検索画面を表示する (→ P17)
[◀◀] / [▶▶]	早戻し/早送りする 早戻し/早送りに中にタッチすることにより、速度が変わる 2倍速 → 10倍速 → 32倍速
[▶/]	再生を一時停止する 停止/一時停止/コマ送り再生/スロー再生/早戻し/早送り中にタッチすると、再生を開始します。
[①]	ワイドモードを切り換える (→ P17)
[■]	ディスクの再生を停止する 次に再生したとき、停止した場所からスタートします。 完全に再生を止めるには、もう一度タッチしてください。
[]	コマ送り再生/スロー再生をする (→ P17)
[MENU]	DVDのディスクメニューを表示する (→ P18)
[TOP MENU]	DVDの最上位メニューを表示する (→ P18)
[①]	音声言語を切り換える (→ P18)
[②]	字幕言語を切り換える (→ P18)
[③]	音声出力を切り換える (→ P18)
[④]	アングルを切り換える (→ P19)
[⑤]	再生範囲を切り換える (→ P19)
[⑥]	ディスクメニュー用タッチキーを呼び出す (→ P18)
[⑦]	ブックマークを指定・解除する (→ P20)

[Return]	ディスク中の、決められた場面に戻る
------------	-------------------

- タイムバーにタッチ、またはカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

本体ボタンでの操作

前後の映像の選択は【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】ボタンを押します。

早戻し / 早送りは【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】ボタンを長く押します。

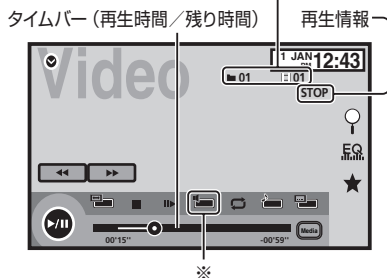
- 早戻し / 早送り操作は、ディスクによってはできない場合があります。
- ビデオ設定メニューでオートプレイ機能が ON に設定されていると、DVD はディスクのメニューをスキップして最初のタイトルから再生を始めます (→ P27)。
- ブックマークが登録されている DVD ディスクは、登録されている場面から再生されます (→ P20)。

DVD-VR、ビデオ CD、DivX、MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4

ビデオ CD の再生、DVD-VR 形式で記録されている DVD (DVD-R/RW) の再生、ディスク (DVD-R/RW/ROM・CD-R/RW/ROM) や USB 機器に記録されている DivX/MPEG-1/MPEG-2/MPEG-4 ファイルの再生を行います。

代表的な画面

タイトルナンバー / チャプターナンバー



※

● ビデオ CD



※ DVD-VRのみ

使用する主なタッチキー

[?]	ビデオ CD 以外： リスト画面を表示する (→ P20) ビデオ CD： 検索画面を表示する (→ P17)
[◀◀] / [▶▶]	早戻し / 早送りする 早戻し / 早送り中にタッチすることにより、速度が変わる 2 倍速 → 10 倍速 → 32 倍速
[▶/]	再生を一時停止する 停止 / 一時停止 / コマ送り再生 / スロー再生 / 早戻し / 早送り中にタッチすると、再生を開始します。
[📺]	ワイドモードを切り換える (→ P17)
[■]	ディスクの再生を停止する
[▶▶]	コマ送り再生 / スロー再生をする (→ P17)
[🔊]	ビデオ CD、DVD-VR： 音声出力を切り換える (→ P18)
[🔄]	リピートする再生範囲を切り換える (→ P19)
[🔊]	DVD-VR、DivX、MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4： 音声言語を切り換える (→ P18)
[📺]	DVD-VR、DivX、MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4： 字幕言語を切り換える (→ P18)
[Media]	混在ディスク： メディアを選ぶ 1 枚のディスクや USB 機器に、音楽 CD データ (CD-DA) や DivX/MPEG-1/MPEG-2/MPEG-4/WMA/MP3/AAC/WAV/JPEG ファイルなどが混在している場合にタッチしてください。(→ P19)
[◀]	ビデオ CD： 押すたびに 4 段階にスロー再生する (1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16)
[Return]	ビデオ CD： ディスク中の、決められた場面に戻る

- タイムバーにタッチ、またはカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

本体ボタンでの操作

前後の映像の選択は【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】ボタンを押します。

早戻し / 早送りは【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】ボタンを長く押します。

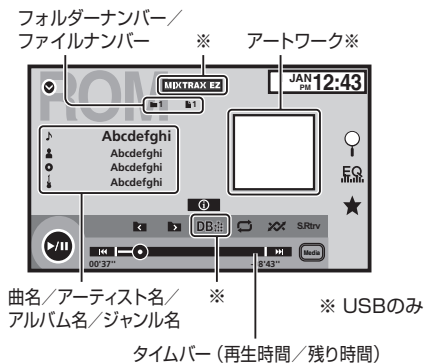
- 早戻し / 早送り操作は、再生するファイルによってはできない場合があります。

CD、WMA、MP3、AAC、WAV、JPEG

CDの再生、ディスクやUSB機器に記録されている音声ファイル(WMA/MP3/AAC/WAV)、USB機器に記録されているJPEG画像の再生を行います。JPEG画像は、スライドショーで再生できます。

- WMA/MP3/AACファイルが再生可能なディスクはDVD-R/RW/ROM、CD-R/RW/ROMです。WAVファイルは、USB機器で再生可能です。

代表的な画面 (音声ファイル)



代表的な画面 (JPEG)



使用する主なタッチキー

[♀]	トラック (ファイル) リストを表示する (→ P20)
[MIXTRAX EZ]	USB (WMA、MP3、AAC、WAV) / ミュージックブラウズモード : MIXTRAX EZ 機能を使用する曲と曲をつなぎ、ノンストップで音楽が楽しめます。タッチするたびにON、OFFが切り換わります。さまざまな演出効果が設定できます。(→ P30)
[♪]	USB (WMA、MP3、AAC、WAV) / ミュージックブラウズモード : 曲リストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)

[♀]	USB (WMA、MP3、AAC、WAV) / ミュージックブラウズモード : アーティストリストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)
[●]	USB (WMA、MP3、AAC、WAV) / ミュージックブラウズモード : アルバムリストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)
[♫]	USB (WMA、MP3、AAC、WAV) / ミュージックブラウズモード : ジャンルリストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)
ア ー ト ワ ー ク	USB (WMA、MP3、AAC、WAV) / ミュージックブラウズモード : 再生中のアルバムの曲リストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)
[i]	WMA、MP3、AAC、WAV : 再生情報の表示を切り換える 曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル ⇄ フォルダー名 / ファイル名
[▶ /]	再生を一時停止する 一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
[⏪ / ⏩]	WMA、MP3、AAC、WAV、JPEG : 前 / 次のフォルダーを選ぶ
[DB:≡]	USB : ミュージックブラウズモードに入るカテゴリを選んで音楽を探せます。(→ P20)
[⏮]	再生範囲を切り換える (→ P19)
[✂]	ランダム再生する (→ P20)
[S.Rtrv]	CD、WMA、MP3、AAC、WAV : サウンドレトリバー機能を使用する音の密度や抑揚感が向上します。タッチすることにより、効果が上がります。効果 1 → 効果 2 → OFF
[Media]	混在ディスク / USB : メディアを選ぶ 1枚のディスクやUSB機器に、音楽CDデータ (CD-DA) や DivX/MPEG-1/MPEG-2/MPEG-4/WMA/MP3/AAC/WAV/JPEGファイルなどが混在している場合にタッチしてください。(→ P19)
[⏪ / ⏩]	JPEG : 前 / 次のファイルを選ぶ
[⏮ / ⏭]	JPEG : ワイドモードを切り換える (→ P17)
[↻]	JPEG : 画像を回転させる タッチすることにより、時計回りに90度ずつ回転します。
[⏴]	JPEG : JPEGファイルのキャプチャーをする (→ P20)

- タイムバーにタッチ、またはカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。
- MIXTRAX を ON にすると、サウンドレトリバーは自動で OFF に切り換わります。MIXTRAX を OFF に戻すと、直前の設定に戻ります。
- JPEG 画像は、ファイルナンバー順に再生されます。フォルダーに再生画像がないときは、次のフォルダーから再生されます。

本体ボタンでの操作

前後のトラック（ファイル）の選択は【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】ボタンを押します。

早戻し / 早送りは【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】ボタンを長く押します。

iPod

iPod を本機に接続して、本機の操作で iPod オーディオや iPod ビデオを再生します。

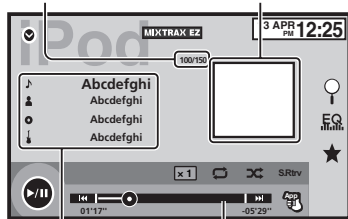
接続方法については、P43 をご覧ください。

- iPod ビデオは、iTunes Store から iPod にダウンロードした、ムービー / ミュージックビデオ / テレビ番組 / ビデオ Podcast / レンタルムービーが再生できます。
- 正しくビデオ出力ができるように、iPod でビデオの設定を行ってから、本機に接続してください。
- iPod からヘッドフォンを外してから、本機に接続してください。
- iPod のモデルやデータ量によっては、再生開始までに時間がかかる場合があります。

代表的な画面（オーディオ）

再生中のトラックナンバー / トラック数

アートワーク



曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名

タイムバー（再生時間 / 残り時間）

代表的な画面（ビデオ）

再生中の映像ナンバー / 映像数



映像タイトル

タイムバー（再生時間 / 残り時間）

使用する主なタッチキー

[♀]	曲や映像を探す (→ P21)
[MIXTRAX EZ]	オーディオ： MIXTRAX EZ 機能を使用する曲と曲をつなぎ、ノンストップで音楽が楽しめます。 タッチするたびに ON、OFF が切り換わります。 さまざまな演出効果が設定できます。(→ P30)
[🎵]	オーディオ： 曲リストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)
[👤]	オーディオ： アーティストリストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)
[🎧]	オーディオ： アルバムリストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)
[🎧]	オーディオ： ジャンルリストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)
ア ー ト ワ ー ク	オーディオ： 再生中のアルバムの曲リストを表示して、曲を選ぶ (→ P21)
[▶ / ⏸]	再生を一時停止する 一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
[[x1]]	オーディオ： オーディオブックの再生速度を切り換える タッチするごとに、再生速度が切り換わります。 標準 → 速い → 遅い
[🔄]	再生する範囲を切り換える (→ P19)

[]	シャッフル再生する範囲を切り換える タッチすることによりシャッフル再生の 範囲が切り換わります。 Off → Songs (曲) → Albums (アル バム)
[]	オーディオ： サウンドレトリバー機能を使用する 音の密度や抑揚感が向上します。 タッチすることにより、効果が切り換わり ます。 OFF → 効果 1 → 効果 2
[]	iPod で操作して本機で再生する (→ P22)
[] / []	ビデオ： 早戻し / 早送りする
[]	ビデオ： ワイドモードを切り換える (→ P17)

- タイムバーにタッチ、またはカーソルを指でスライ
ドして再生位置を指定することもできます。
- JPEG 画像は、ファイルナンバー順に再生されま
す。フォルダーに再生画像がないときは、次のフォル
ダーから再生されます。

本体ボタンでの操作

前後のファイルの選択は【◀ TRK ▶ (TRACK/
SEEK)】ボタンを押します。

早戻し / 早送りは【◀ TRK ▶ (TRACK/SEEK)】
ボタンを長く押します。

AUX、AV

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプ
レーヤーなどの外部機器を接続して、映像や音声
を再生します。

■ 外部機器の接続

AUX ソースを使用する場合

本機背面の AUX 入力端子に、別売の AV 入力用変換ケー
ブル (CD-VRM200) を差し込み、外部機器を接続します。

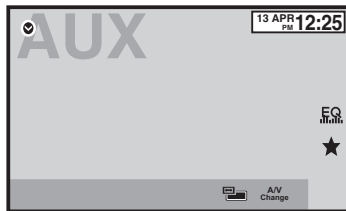
- AUX ソースを ON にするには、システム設定の
「AUX 入力設定」を ON に設定する必要があります (→ P30)。

AV ソースを使用する場合



本機背面の RCA 映像 / 音声入力端子に、外部機器を接続
します。

- AV ソースを ON にするには、システム設定の「AV
入力設定」を ON に設定する必要があります (→
P30)。

代表的な画面 (例：AUX)



使用する主なタッチキー

[]	「Video」選択時： ワイドモードを切り換える (→ P17)
[]	AUX： Audio/Video を切り換える

ソース別操作

それぞれの機能が該当するソースをマークで示しています。(例: ラジオ→Radio)

- 映像ソースで、無効の数字を入力したり、無効な操作をしようとした場合、(禁止マーク)が表示されることがあります。この場合、入力した数字が取り消されたり、操作が拒否されたりします。

バンドを切り換える Radio

FM、AMのバンドを切り換えます。それぞれ、2つのバンドを持っています。

1 [FM 1] または [AM 1] にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

FM 1(バンド1) ↔ FM 2(バンド2)
AM 1(バンド1) ↔ AM 2(バンド2)

- FM、AMを聞いているときは、バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。例えば、バンド1には、ふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行など、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてベストステーションズメモリー(→P16)を行うと便利です。

放送局を選ぶ Radio

放送局やチャンネルの選局は、マニュアル選局、プリセット選局があります。プリセットチャンネルとは、本機に登録されている放送局です。バンドごとにそれぞれ6局まで登録できます。

■ マニュアル選局

1 [◀] / [▶] にタッチする

周波数やチャンネルが切り換わります。

- [◀] / [▶] にタッチし続けてから離すと、シーク(自動選局)モードになります。

■ プリセット選局

1 [①] ~ [⑥] にタッチする

選んだプリセットやチャンネルを受信します。

受信状態の良い放送局を自動で登録する Radio

ベストステーションズメモリー(BSM)は、受信状態の良い放送局を探して、プリセットチャンネルに自動的に登録する機能です。

1 登録したいバンドを選び、[] にタッチする(→P16)

2 [BSM] にタッチする

ベストステーションズメモリーが始まります。

登録動作中は、回転表示がされます。登録が完了すると、回転表示が消え、P1(プリセットチャンネル1)に登録された放送局を受信します。

- 登録動作中に[キャンセル]にタッチすると、ベストステーションズメモリーを中止できます。
- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、以前に登録した放送局が残ることがあります。

プリセットチャンネルを登録する

Radio

バンドごとに6局ずつ登録できます。お好みの放送局をお好みの順番で登録できます。

1 [FM 1] または [AM 1] にタッチして、登録したいバンドを選ぶ

2 [] にタッチする

3 [◀] / [▶] にタッチして、登録したい放送局を受信する

4 登録したいリストの番号に長く(約2秒)タッチする

選んだ番号に周波数が表示され、登録が完了します。

- [V] / [^] にタッチすると、FM1とFM2、またはAM1とAM2の表示を切り換えます。

交通情報を受信する (TI) Radio

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを瞬時に受信します。

この機能は、ソースがOFFのときでも、どのソースからでも操作可能なので、情報を逃さず受信できます。

1 [TI] ボタンを押す

交通情報を受信します。

- 受信をやめるときは、[TI] ボタンをもう一度押します。交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 [◀] / [▶] にタッチして、周波数を切り換える

1 620 kHz ⇄ 1 629 kHz

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

見たい（聞きたい）場所を指定して再生する **Disc**

DVD ビデオやビデオ CD 再生時に、見たい（聞きたい）場所のチャプターやトラックなどを指定して、その場所から再生できます。

1 [] にタッチする

2 希望のサーチ方法のタッチキーにタッチする

DVD ビデオ

[Title]	タイトルサーチ
[Chapter]	チャプターサーチ
[10key]	10 キー入力

ビデオ CD

[Track]	タイトルサーチ
[10key]	10 キー入力

3 [0] ~ [9] にタッチして、ナンバーを入力する

- 入力を取り消すときは [C] にタッチします。

4 [] にタッチする

指定した場所から再生されます。

- 再生停止中は、チャプターサーチの操作はできません。

ワイド画面の拡大方法を切り換える **Disc** **USB/iPod** **AUX** **AV**

映像ソース選択時に、映像の拡大方法を切り換えます。

1 [] にタッチする

2 切り換えたいモードにタッチする

[Full] (フル)	4 : 3 の映像の左右だけを拡大します。映像の欠けがなく、ワイド画面で楽しめます。
[Zoom] (ズーム)	映像を上下左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。

[Normal]
(ノーマル)
映像をそのまま表示します。従来の地上波テレビの映像と同じです。

- ワイドモードの設定内容は、映像ごとに登録されます。
- ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き延ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

コマ送り／スロー再生する **Disc**

USB/iPod


映像ソース選択中に、再生方法を切り換えます。

- コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。
- ディスクによっては、コマ送り／スロー再生中の映像が乱れる場合があります。
- コマ戻しと戻り方向のスロー再生はできません。

■ コマ送り再生

1 [] にタッチする



タッチするたびに、映像がコマ送りされます。

- [] にタッチすると、通常再生に戻ります。
- 静止画を再生中にコマ送り再生を行うと、再生中の静止画と同じチャプター内に次の静止画または動画がある場合、リピート再生範囲に関係なくそれらを再生します。
- 同じチャプター内に次の静止画または動画がない場合、リピート再生範囲によって以下のように再生されます。
 - Disc : 次のチャプター、タイトルまたは再生中のディスクの先頭を再生します。
 - Title : 次のチャプターまたは再生中のタイトルの先頭を再生します。
 - Chapter : 現在のチャプターの前頭を再生します。

■ スロー再生

1 [] にタッチし続ける

映像がスロー再生されます。



- DVD ビデオ / DVD-VR / ビデオ CD は、スロー再生中に [] にタッチすると、スロー再生の速度を 4 段階 (1/16 ⇒ 1/8 ⇒ 1/4 ⇒ 1/2) で切り換えます。
- [] にタッチすると、通常再生に戻ります。


DVD ディスクのディスクメニューを操作する **Disc**







DVD ビデオのディスクメニューを操作できます。





■ ディスクメニュー用タッチキーを使った操作


1 [] または [] にタッチする
ディスクメニューが表示されます。


 • [] にタッチして、ディスクメニュー用タッチキーを表示させることもできます。この場合は、手順 3 から操作してください。

2 [] にタッチする
ディスクメニュー用タッチキーが表示されます。

[]	希望の項目を選択
[]	
[]	
[]	
[]	選択項目を実行
[]	ダイレクトメニュー画面を表示

3 [] / [] / [] / [] にタッチして、メニューを操作する



4 [] にタッチする
選択したメニューから再生されます。


5 [] にタッチする
ディスクメニュー用タッチキーが画面から消えます。

■ DVD メニューダイレクトタッチ機能を使った操作

1 [] または [] にタッチする
ディスクメニューが表示されます。

2 再生したい項目に直接タッチして、メニューを操作する (DVDメニューダイレクトタッチ機能)

 • [] にタッチすると、ディスクメニュー用タッチキーが表示されます。DVD メニューダイレクトタッチ機能では操作しにくい場合は、ディスクメニュー用タッチキーで操作してください。

- [] にタッチすると、しばらくの間タッチキーが表示されます。
- ディスクやコンテンツによっては、DVD メニューダイレクトタッチ機能に対応していないものもあります。



- ディスクによっては、ディスクメニューのないものや、表示されないものもあります。
- メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

再生中に音声や言語を切り換える

Disc **USB**

音声言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えられます。

1 再生中に [] にタッチする
タッチするたびに、音声切り換わります。

 • ディスクのパッケージにある  マークの数字が音声の収録数です。



- 実際に再生される音声はディスクに依存します。設定により、選択した音声とは異なる場合があります。
- 音声言語の設定は、ビデオ設定メニューで行います (→ P24)。
- 早戻し / 早送り / 一時停止 / スロー再生中に本操作を行うと、通常再生に戻ります。

再生中に字幕言語を切り換える

Disc **USB**

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えられます。

1 再生中に [] にタッチする
タッチするたびに、字幕言語が切り換わります。


 • ディスクのパッケージにある  マークの数字が字幕の収録数です。

- 字幕言語の設定は、ビデオ設定メニューで行います (→ P24)。
- 早戻し / 早送り / 一時停止 / スロー再生中に本操作を行うと、通常再生に戻ります。

音声の出力方法を切り換える

Disc

DVD ビデオや DVD-VR、ビデオ CD 再生時に、音声の出力方法をステレオまたはモノラルに切り換えられます。

1 [] にタッチする
タッチするたびに、以下のように切り換わります。

L+R (ステレオ) → L (モノ左) → R (モノ右)
→ MIX (左右ミックス) → L+R (ステレオ) に戻る

- DVD ビデオディスクでは、音声は LPCM のときだけ、音声の出力方法を切り換えられます。
- ディスクが停止中は、切り換えができません。
- DVD-R/RW のビデオレコーディングフォーマット (VR モード) では、音声多重放送が録画されているときだけ、音声の出力方法を切り換えられます。
- 音声多重放送を DVD-R/RW の VR モードで録画すると、左チャンネルに主音声、右チャンネルに副音声記録されます。この主音声と副音声の切り換えも、本操作で行います。

ビデオ CD/CD/USB

ビデオ CD/CD :	再生中のディスク / USB メディア全体を繰り返し再生
USB :	再生中のフォルダーを繰り返し再生
	再生中のトラック / ファイルを繰り返し再生

iPod

All	再生中のリスト全体を繰り返し再生
	再生中の曲 / 映像を繰り返し再生

JPEG

All	再生中の USB 全体を繰り返し再生
	再生中のフォルダーを繰り返し再生

選んだりリピート範囲で、リピート再生します。

- 選択したフォルダーのサブフォルダーはリピート範囲対象外です。再生はされません。
- WMA/MP3/AAC ファイルとオーディオデータ (CD-DA) が混在したディスクの場合、ディスクを選択してもディスク全体がリピート範囲となりません。現在再生中のデータが対象となります。
- リピート範囲がチャプターまたはタイトルるときに別のチャプターやタイトルを選んだり、早戻し / 早送りやコマ送り / スロー再生を行うと、リピート範囲はディスクに変わります。
- リピート範囲がフォルダーのときに別のフォルダーを選ぶと、リピート範囲はディスクに変わります。
- リピート範囲がファイルのときに別のファイルを選んだり、ファイルの早戻し / 早送りやコマ送り / スロー再生を行うと、リピート範囲はフォルダーに変わります。
- リピート再生範囲がトラックのときに別のトラックを選んだり、早戻し / 早送りやコマ送り / スロー再生を行うと、リピート範囲はディスクに変わります。
- 早戻し / 早送り / 一時停止 / スロー再生中に本操作を行うと、通常再生に戻ります。

再生中にアングルを切り換える

Disc

アングルが複数収録されている DVD ビデオの場合、再生中にアングルを切り換えられます。

1 再生中に [] にタッチする

タッチするたびに、アングルが切り換わります。

- ディスクのパッケージにある マークの数字がアングルの収録数です。
- 早戻し / 早送り / 一時停止 / スロー再生中に本操作を行うと、通常再生に戻ります。
- 複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下にマルチアングルマーク () を表示して知らせます。
- マルチアングルマーク表示の ON / OFF は、ビデオ設定メニューで行います (→ P25)。

リピート再生する **Disc** **USB/iPod**

繰り返し再生する範囲を選択できます。

1 [] にタッチする

タッチするたびに、リピート再生する範囲が切り換わります。

以下の表を参照して、リピート範囲を選択してください。 とアイコンの組み合わせでリピート範囲を示します。

DVD ビデオ / DVD-VR

	再生中のディスク全体を繰り返し再生
	再生中のチャプターを繰り返し再生
	再生中のタイトルを繰り返し再生

DivX/MPEG-1/MPEG-2/MPEG-4/WMA/MP3/AAC/WAV

	再生中のディスク全体を繰り返し再生
	再生中のフォルダーを繰り返し再生
	再生中のファイルを繰り返し再生

メディアを切り換える **Disc** **USB**

ディスクや USB 機器に映像、音声、画像が混在している場合に、切り換えます。

1 [] にタッチする

2 [Music] または [Video] または [Photo] にタッチする

選択したメディアが再生されます。

- 画像はスライドショーで再生されます。

ブックマークを登録する **Disc**

ブックマークとは、DVD ビデオ再生中に場面を選んで登録する機能のことです。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 [𠄎] にタッチする

選んだ場面が、ブックマークとして登録されます。次回ディスク挿入時、その場面から再生されます。

- ブックマークの登録内容を消去する場合は、[𠄎] に長くタッチしてください。
- ブックマークは、ディスク 1 枚につき 1 場面を登録できます。
- ブックマークは、ディスク 5 枚分の登録ができます。5 枚を超えてブックマークを登録した場合は、一番古いブックマーク情報に上書きされます。

リストから選んで再生する **Disc**

USB

音楽ファイル再生中に、ファイル名（曲名／ディスク名）のリストから、聞きたいファイルを選べます。

1 [♀] にタッチする

リストが表示されます。

2 再生したい項目にタッチする



選んだ曲／ファイルの再生が始まります。

- フォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内のファイル名のリストを表示します。

ランダム再生する **Disc** **USB**

音楽ファイルや画像ファイルを、選んだリピートの範囲内で、順番を変えて再生します。

リピート範囲が「Disc/All」のとき

ディスクやUSBメディア内の曲をランダムに再生します。

リピート範囲が「Folder」のとき

フォルダー内の曲をランダムに再生します。

1 [✕] にタッチする

タッチすることに、Off→Onが切り換わります。

- リピートの範囲が「Track」または「File」の場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲が自動的に「Disc」または「Folder」に切り換わります。

画像をキャプチャーする **USB**

JPEG 画像をキャプチャーして本機に保存します。保存した画像は、本機モニターの壁紙に使用できます (→P33)。

- キャプチャー操作は、スライドショー再生中に行うことができます。
- 保存できる画像は 1 枚だけです。新しい画像を保存した場合は、古い画像に上書きされます。
- 解像度 720 × 480 の画像を、画面設定が「Full」(初期値)の状態 (→P17) でキャプチャーすると、画面に最適に表示されます。

1 希望の画像を画面に表示して [⇩] にタッチする

保存を確認するメッセージが表示されます。

2 [Yes] にタッチする

メッセージが表示され、画像が保存されます。

- 保存をしないときは [No] にタッチしてください。

カテゴリを選んで曲をさがす **USB**

アルバム名、アーティスト名などの項目別リストからお好みの曲を選んで再生できます (ミュージックブラウズモード)。

- 項目別リストから検索するために、データベースを構築します。USB 機器の空きスペースが 5 MB 必要です。USB 機器がロックされているときは、解除してください。
- データベース構築中は、本機の電源を OFF にしないでください。USB 機器のデータが消失する場合があります。
- データベース構築中に、ビデオメディアや JPEG 画像表示に切り換えると、メッセージが表示され、構築が中断されます。

1 [DB≡] にタッチする

データベースの保存を確認するメッセージが表示されます。

2 [Yes] にタッチする

メッセージが表示後、データベースが保存され、ミュージックブラウザモードになります。保存をしないときは、[No] をタッチしてください。データベースの保存が完了すると、完了のメッセージが表示されます。

3 [♀] にタッチする

Tag 欄のリスト選択画面が表示されます。

4 リストにタッチして曲を絞り込む

[アーティスト]	アーティスト名から選曲できます。
[アルバム]	アルバム名から選曲できます。
[曲]	曲名で選曲できます。
[ジャンル]	ジャンル名から選曲できます。



- リストが画面に隠れているときは [...] にタッチします。リストがスクロールし、隠れた部分が表示されます。
- リストの頭文字をアルファベット (A ~ Z) と数字 (0 ~ 9) で検索できます。[ABC] にタッチし、画面下部に表示されるアルファベットと数字 (# 表記) にタッチしてください。

5 聞きたい曲にタッチする

選んだ曲の再生が始まります。



- エンジンスイッチを入れ直した場合など、項目別リストが表示されないときがあります。手順 1 ~ 手順 2 の操作を繰り返し、データベースを保存しなおしてください。

関連した曲を探す USB/iPod

USB または iPod で、再生している曲に関連したリストを表示して曲を探します。



- USB で本機能を使用する場合は、ミュージックブラウザモードにします (→ P20)。

1 [♪] / [人] / [●] / [↓] / アートワークにタッチする

タッチしたキーに応じたリストが表示されます (→ P13,14)。

2 リストにタッチして聞きたい曲を探す

選んだ曲の再生が始まります。

iPod ミュージックと iPod ビデオを切り換える iPod

iPod ミュージックを再生するにはミュージックモードに切り換えます。iPod ビデオを再生するにはビデオモードに切り換えます。

■ ミュージックモードに切り換える

1 [♀] にタッチする

2 [♪] にタッチする

ミュージックモードに切り換わり、iPod ミュージックリスト選択画面が表示されます。



リストから曲を探します (→ P21)。

■ ビデオモードに切り換える

1 [♀] にタッチする

2 [📺] にタッチする

ビデオモードに切り換わり、iPod ビデオリスト選択画面が表示されます。



リストから映像を探します (→ P21)。

曲／映像を探す iPod

iPod のプレイリストやジャンル、アーティスト、アルバムなどのリストから選んで再生できます。

■ iPod ミュージックから探す

1 [♀] にタッチする

リスト選択画面に切り換わります。

2 ミュージックモードに切り換える (→ P21)

3 リストにタッチして曲を絞り込む

[プレイリスト]	On-the-Go や トップ 25、 トッププレートなどから選曲で きます。
[アーティスト]	アーティスト名から選曲で きます。
[アルバム]	アルバム名から選曲で きます。
[曲]	曲名で選曲で きます。
[ポッドキャスト]	ポッドキャストから選 べます。
[ジャンル]	ジャンル名から選曲で きます。
[作曲者]	作曲者名から選曲で きます。
[オーディオブック]	オーディオブックから選曲で きます。

- リストが画面に隠れているときは [⋮] にタッチ
します。リストがスクロールし、隠れた部分が表
示されます。
- リストの頭文字をアルファベット (A～Z) と数
字 (0～9) で検索できます。[ABC] にタッチ
し、画面下部に表示されるアルファベットと数字
(# 表記) にタッチしてください。

4 聞きたい曲にタッチする

選んだ曲の再生が始まります。

■ iPod ビデオから探す

1 [♀] にタッチする

リスト選択画面に切り換わります。

2 ビデオモードに切り換える (→P21)

3 リストにタッチして映像を絞り込む

[Video Playlists]	ビデオプレイリストから選 べます。
[ムービー]	ムービーから選べます。
[ミュージックビデオ]	ミュージックビデオから選 べます。
[テレビ番組]	テレビ番組から選べます。
[ビデオ Podcast]	ビデオポッドキャストから選 べます。
[レンタルムービー]	レンタルムービーから選 べます。

- 接続する iPod によっては、項目が異なる場合が
あります。
- リストが画面に隠れているときは [⋮] にタッチ
します。リストがスクロールし、隠れた部分が表
示されます。
- リストの頭文字をアルファベット (A～Z) と数
字 (0～9) で検索できます。[ABC] にタッチ
し、画面下部に表示されるアルファベットと数字
(# 表記) にタッチしてください。

4 聞きたい映像にタッチする

選んだ映像の再生が始まります。

iPod を操作して本機で再生する

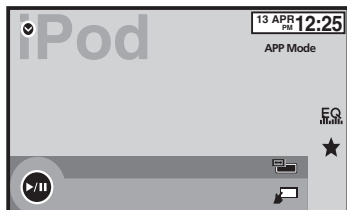
iPod

コントロールモードを切り換えることにより、
iPod の画面操作で本機から再生ができます。

- 対応 iPod については、P48 をご覧ください。

1 [App] にタッチする

App モードに切り換わります。



- [] にタッチすると、通常モードに切り換
わります。

2 本機に接続した iPod で再生操作をする

- 本機画面では、早戻し / 早送り、曲送り / 曲戻し
ができます。
- iPod では、以下のキー操作ができます。
 - 再生 / 一時停止
 - 早戻し / 早送り
 - 曲送り / 曲戻し
 - チャプター送り / チャプター戻し
- 本機能を操作中にエンジンスイッチを OFF にし
ても、iPod は OFF になりません。iPod を操作
して行ってください。

便利な機能

バックカメラを使う

別売のバックカメラユニットを接続すると、車の後方映像を本機のモニターに表示できます。バックカメラの映像表示には、2通りの方法があります。

リバース連動

バック信号線の接続が必要です (→ P38)。
カメラの極性設定が必要です (→ P32)。

リアビューモード

カメラの極性設定が必要です (→ P32)。

- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

■ リバース連動でバックカメラの映像を表示する

1 車両のシフトレバーをR (リバース)の位置にする



バックカメラの映像が表示されます。

- シフトレバーをR (リバース) 以外の場所に切り換えるか、【MUTE】 ボタンを長く押しと、バックカメラの映像が消えます。

■ リアビューモードでバックカメラの映像を表示する

1 ホーム画面 (→P9) で [] にタッチする

リアビューモード (バックカメラの映像画面) に切り換わります。

- リアビューモード中は、ホーム画面のタッチキーが [] になります。タッチすると [] に切り換わり、リアビューモードを解除できます。
- リアビューモード中に画面をタッチすると、リアビューモードを一時的に解除できます。そのまま約7秒間何も操作しないと、リアビューモードに戻ります。(ホーム画面や各種設定画面など、表示している画面によってはリアビューモードに戻らない場合があります。)

リアモニターを使う

本機に、別売のリアモニターを接続すると、映像ソースを後部座席でも楽しめます。

- タッチキーや操作画面は表示されません。
- 走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

■ リアモニターの設置場所について

リアモニター出力には、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニターは、走行中に運転者が映像を見ることができない位置に設置してください。

タッチパネルの誤差を補正する

タッチパネルに触れたとき、触れた位置と反応する位置がずれることがあります。このようなときは、タッチパネルの位置の誤差を補正してください (キャリブレーション設定)。

補正には、2通りの方法があります。

簡易設定

画面の四隅に現れる矢印の先端を、綿棒などの先の尖っていない物でタッチします。

詳細設定

画面の16カ所に現れる十字マークの中心を、綿棒などの先の尖っていない物でタッチします。

- 必ず、綿棒などの先の尖っていない物を使用してください。先の尖った物を使用すると、液晶画面の故障の原因となります。
- 画面を強くタッチしないでください。強くタッチすると、液晶画面の故障の原因となります。
- 設定操作中にエンジンスイッチをOFFにしないでください。設定が保存されません。



1 ホーム画面 (→P9) で [] にタッチしてソースをOFFにする

2 [] ボタンを長く押す

キャリブレーション設定画面が表示されます。

3 綿棒などの先の尖っていない物を使って、キャリブレーション設定を行う

画面の指示に従って、キャリブレーション設定を行ってください。

- キャリブレーション設定を途中でやめるときは、[] ボタンを長く押ししてください。
- キャリブレーション設定が終わったら、[] ボタンを長く押ししてください。設定内容が保存され、ソース画面に戻ります。

カスタムメニューを使う

任意のメニュー項目を選択し、カスタムメニューとして登録できます。カスタムメニューのタッチキーはソース画面にも表示されますので、画面を切り換えることなく設定操作ができます。

1 登録するメニュー項目の☆マークにタッチする

☆マークが★に変わり、登録済みであることを示します。

- 登録を取り消すには、もう一度☆マークにタッチします。カスタムメニュー画面で登録を削除するには、メニュー項目を長くタッチします。
- 12項目登録できます。
- ビデオ設定メニュー(→P24)の各項目については、カスタムメニューとして登録することはできません。

2 カスタムメニューを開き、登録したメニューを選択する

ビデオ設定

ビデオに関する設定を行います。

ビデオ設定メニューを表示する

1 ホーム画面(→P9)の[ビデオ]にタッチする

ビデオ設定メニューが表示されます。

[基本字幕]	優先的に表示したい字幕言語を設定する(→P24)
[基本音声]	優先的に聞きたい音声言語を設定する(→P24)
[メニュー言語]	優先的に表示したいメニュー言語を設定する(→P24)
[マルチアングル]	マルチアングルマークの表示/非表示を切り換える(→P25)
[テレビアスペクト]	画面の表示比率を設定する(→P25)
[スライドショー設定]	スライドショーの表示間隔時間を設定する(→P25)
[視聴制限]	視聴制限(パレンタルロック)を設定する(→P25)
[DivX®字幕設定]	DivX字幕(「オリジナル字幕」と「カスタム字幕」)の表示方法を切り換える(→P26)
[DivX®VOD設定]	DivX VODの登録コードを確認する(→P26)
[DVDオートプレイ]	オートプレイを設定する(→P27)

- DiscソースがONになっていないと、ビデオ設定メニューは選択できません。

■ 字幕言語 / 音声言語 / メニュー言語を設定する

1 ビデオ設定メニュー(→P24)の[基本字幕] / [基本音声] / [メニュー言語]にタッチする

基本字幕 / 基本音声 / メニュー言語選択画面が表示されます。

2 希望の言語にタッチする

例：基本字幕選択画面



- 設定した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。

「その他」を選んだ場合

「その他」を選択すると、言語コードを入力できます。言語コード表(→P49)を参照して、言語コードを入力し、[←] にタッチしてください。

- [C] (クリア) にタッチすると、入力した数字を消して、現在設定されている言語コードを表示します。

■ マルチアングルマークの表示／非表示を切り換える

マルチアングルで収録されたディスクで、アングル切り換えができる場面を再生している間、マルチアングルマークを表示できます。

1 ビデオ設定メニュー(→P24)の[マルチアングル]にタッチする

タッチすることにより、On (表示) ⇄ Off (非表示) が切り換わります。

■ テレビアスペクトを設定する

ディスクに収録された映像(画像)の比率に合わせて設定します。

1 ビデオ設定メニュー(→P24)の[テレビアスペクト]にタッチする

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

16:9 → レターボックス → パンスキャン → 16:9に戻る

16:9	ワイドモニターに最適な設定です。
レターボックス	上下に黒い帯のある画面になります。通常、4:3のモニターで使用します。
パンスキャン	左右の切れた画面になります。通常、4:3のモニターで使用します。

- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定しても「レターボックス」での再生になります。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- DivX ファイル再生時は、テレビアスペクトの設定によっては、画像の左右および上下に黒帯が付くことがあります。

■ スライドショーの表示間隔時間を設定する

1 ビデオ設定メニュー(→P24)の[スライドショー設定]にタッチする

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

10秒 → 15秒 → Manual (手動) → 5秒 → 10秒に戻る

- USBのオーディオソースがONのときは、切り換えができません。
- キー操作で画像を切り換えたいときは、「Manual」(手動)を選びます。

■ 視聴制限(パレンタルロック)を設定する

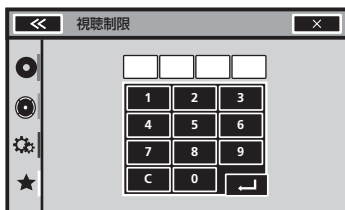
ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定できます。

- はじめて視聴制限を設定するときは、まず暗証番号を設定します。暗証番号を設定しないと、視聴制限は設定できません。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどでご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限は設定できません。
- ディスクによっては、視聴制限された場面だけを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

暗証番号とレベルを設定する

1 ビデオ設定メニュー(→P24)の[視聴制限]にタッチする

2 暗証番号を入力する



- [C] (クリア) にタッチすると、入力した数字を消せます。

- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。

3 [←] にタッチする

暗証番号が設定され、レベル設定画面が表示されます。

4 希望のレベルの数字にタッチする

視聴制限レベルが設定されます。

レベル 8	すべてのディスクを再生します。
レベル 7 ~ 2	成人向けのディスクの視聴を制限します。子供向けや、一般向けのディスクを再生します。
レベル 1	子供向けディスクのみ再生します。

レベルを変更する場合

1 暗証番号を入力して [←] にタッチする

レベル設定画面が表示されます。

- 間違った暗証番号を入力すると、⊗が表示され、番号が間違っていることを知らせます。正しい暗証番号を入力してください。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、以下の「暗証番号を忘れたときは」をご覧ください。

2 希望のレベルの数字にタッチする

視聴制限レベルが変更されます。

視聴制限されたディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生しようとしたとき、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、暗証番号を入力しないと再生は始まりません。

暗証番号を忘れたときは

リセットボタンを押して登録した暗証番号を解除し、新しい暗証番号を入力します。

- リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻り、設定内容は消去されます。

■ DivX 字幕の表示方法を切り換える

DivX ファイルには、字幕が収録されているものがあります。また、DivX ファイルに字幕を追加して、ディスクに記録することもできます。あらかじめ DivX ファイルに収録されている字幕を「オリジナル字幕」と呼びます。DivX ファイルを作成したあとに追加した字幕を「カスタム字幕」と呼びます。

- ファイル形式「.srt」のカスタム字幕だけに対応しています。
- カスタム字幕は 1 行あたり 42 文字まで対応しています。
- 1 画面に一度に表示できる字幕の文字数は 126 文字までです。

1 ビデオ設定メニュー (→P24) の [DivX®字幕設定] にタッチする

タッチするごとに、オリジナル ⇄ カスタムが切り換わります。

■ DivX VOD の登録コードを確認する

DivX VOD ファイルを再生する場合、本機の登録コードが必要な場合があります。

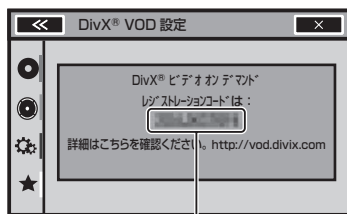
- DivX VOD ファイルは、DRM コピープロテクションがかかっています。DivX VOD ファイルは、登録されたプレーヤーだけで再生ができます。
- 本機の登録コードが認証されていない DivX VOD ファイルは再生できません。
- DivX VOD ファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのような DivX VOD ファイルを本機で再生すると、残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が 0 になったファイルは再生できません。
- 視聴回数の設定されていない DivX VOD ファイルは、何度でも再生できます。

■ レジストレーションコードを表示する

1 ビデオ設定メニュー (→P24) の [DivX®VOD設定] にタッチする

2 [レジストレーションコード] にタッチする

DivX VOD の登録コードが表示されます。登録コードは 10 桁の英数字です。



登録コード

■ ディレジストレーションコードを表示する

レジストレーションコードが登録済みの場合、登録を解除して行います。

- レジストレーションコードが未登録の場合は、この操作はできません。

オーディオ設定

音量バランスやグラフィックイコライザーなどの、オーディオに関する設定を行います。

オーディオ設定メニューを表示する

1 ホーム画面 (→P9) の [オーディオ] にタッチする

オーディオ設定メニューが表示されます。

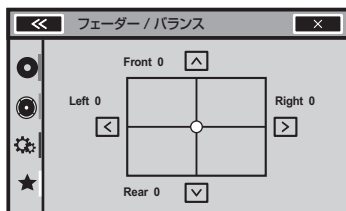
[フェーダー / バランス]	前後左右のスピーカーの音量バランスを調節する (→ P27)
[イコライザー]	グラフィックイコライザーを使う (→ P28)
[ソニックセンターコントロール]	位相調整により、リスニングポジションにより適した音場を調整する (→ P28)
[ラウドネス]	音量を下げた再生するときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にする (→ P28)
[サブウーファー]	サブウーファーを設定する (→ P28)
[バスブースター]	低音域を強調させ、迫力のある低音を再生する (→ P29)
[ハイパスフィルター]	選んだ周波数よりも高い音だけを、フロントスピーカー、リアスピーカーから出力する (→ P29)
[ソースレベルアジャスター]	FM の音量を基準にして各ソースの音量をそろえる (→ P29)

• FM ラジオを聞いているときは、ソースレベルアジャスターは操作できません。

前後左右の音量バランスを調節する

1 オーディオ設定メニュー (→P27) の [フェーダー / バランス] にタッチする

2 [∧] / [∨] / [◀] / [▶] にタッチする



1 ビデオ設定メニュー (→P24) の [DivX®VOD設定] にタッチする

2 [ディレジストレーションコード] にタッチする

3 [OK] にタッチする

ディレジストレーションコードが表示され、現在の登録コードが無効になります。

• 登録の解除を中止するときは [キャンセル] にタッチしてください。

オートプレイを設定する

DVD メニューをスキップし、最初のタイトルから再生を始めます。

• DVD ディスクによっては正常に動作しない場合があります。その場合は設定を OFF にしてください。

1 ビデオ設定メニュー (→P24) の [DVD オートプレイ] にタッチする

タッチするごとに、Off ⇄ On が切り換わります。

前後左右のバランスが調節できます。

フェーダー	Front (フロント) : 0 ~ 15 Rear (リア) : 0 ~ 15
バランス	Left (レフト) : 0 ~ 15 Right (ライト) : 0 ~ 15

- システム設定メニューでリアスピーカー出力が「サブウーファー」に設定されているときは、前後のバランス調整はできません (→P32)。

■ グラフィックイコライザーを使う

音質を手軽に調整する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、音質を手軽に調整できます。ソース画面の[EQ]にタッチして、お好みのカーブに切り換えます。

S.Bass	低域が厚みを持ち、迫力ある重低音が響きます。
Powerful	低域と高域が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
Natural	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
Vocal	中高域が厚みを持ち、伸びやかなヴォーカルを際立たせます。
Flat	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときに使用してください。
Custom 1 Custom 2	お好みに合わせて調整できます。「Custom1」はソースごとに登録され、「Custom2」はすべてのソースに共通のイコライザーカーブとして登録されます。

グラフィックイコライザーを細かく調整する

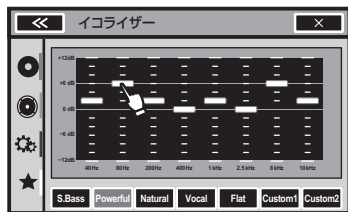
お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数ごとにレベルを調整できます。

- 「Custom2」以外のカーブを選んでいるときに調整すると、自動的に「Custom1」に登録されます。
- 「Custom2」を選んでいるときに調整すると、「Custom2」の調整内容が更新されます。

1 オーディオ設定メニュー (→P27) の [イコライザー] にタッチする

2 調整したいカーブ [S.Bass] ~ [Custom2] にタッチする

3 調整する周波数のバーを移動して調整する



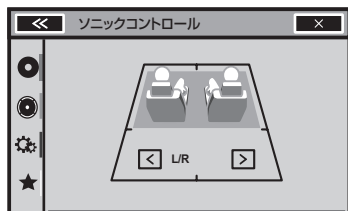
調整できるレベル範囲は、以下のとおりです。

+ 12 dB ~ - 12 dB (2 dB/ステップ)

■ 音場を調整する

1 オーディオ設定メニュー (→P27) の [ソニックセンターコントロール] にタッチする

2 [<] / [>] にタッチする



調整できる範囲は、以下のとおりです。

Left (レフト)	0 ~ 7
Right (ライト)	0 ~ 7

■ 小さな音を聞きやすくする

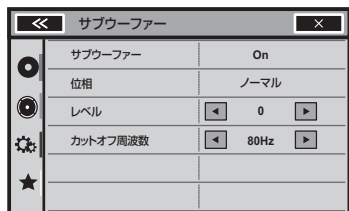
1 オーディオ設定メニュー (→P27) の [ラウドネス] — [◀] / [▶] にタッチして効果を選ぶ

Off/Low (低) / Mid (中) / High (高)

■ サブウーファーを設定する

1 オーディオ設定メニュー (→P27) の [サブウーファー] にタッチする

2 [サブウーファー] にタッチして「On」に切り換える



サブウーファーの出力が ON になります。

3 [位相] にタッチして、位相を切り換える

ノーマル (正相)	サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーと同時に出力される
リバース (逆相)	サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転（干渉）し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。

4 「レベル」の [◀] / [▶] にタッチする

サブウーファーの出力レベルが調整できます。調整できる範囲は、以下のとおりです。
- 24 ~ + 6

5 「カットオフ周波数」の [◀] / [▶] にタッチする

サブウーファーのカットオフ周波数が調整できます。

以下の周波数を選択できます。

50 Hz/63 Hz/80 Hz/100 Hz/125 Hz

- 選んだ周波数よりも上の周波数（または下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファーのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調させることもできます。

■低い音を強調する

1 オーディオ設定メニュー（→P27）の「バスブースター」— [◀] / [▶] にタッチしてレベルを選ぶ

調整できる範囲は 0 ~ +6 です。

■低い音を出力しないようにする

フロントスピーカーとリアスピーカーからは高音だけを出力させ、サブウーファーからは低音だけを出力させることで、各スピーカーとサブウーファーの音のつながりを自然にできます。

- ハイパスフィルターとは、設定した周波数（カットオフ周波数）から下の音域（低音域）をカットして、高音域を通すフィルターです。
- 選んだ周波数よりも下の周波数（または上の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。ハイパスフィルターのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも下の音域がカットされ、高音域だけが出力されます。

1 オーディオ設定メニュー（→P27）の「ハイパスフィルター」— [◀] / [▶] にタッチしてカットオフ周波数を選ぶ

以下の周波数を選択できます。

Off/50 Hz/63 Hz/80 Hz/100 Hz/125 Hz

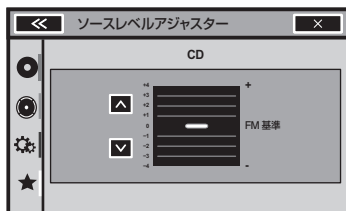
■各ソースの音量をそろえる

- ソースが FM ラジオのときは設定できません。

1 調節するソースを選択する（→P10）

2 オーディオ設定メニュー（→P27）の「ソースレベルアジャスター」にタッチする

3 [^] / [v] にタッチする



ソースレベルアジャスターのレベルを調節できます。

調節できる範囲は、+ 4 dB ~ - 4 dB です。

- ビデオ CD・CD・ROM-Audio と DivX、AM と 交通情報、USB 機器と iPod は同じ設定になります。

システム設定

システムに関する設定を行います。

システム設定メニューを表示する

1 ホーム画面(→P9)の[システム]にタッチする

システム設定メニューが表示されます。

[AUX入力設定]	AUX入力を設定する(→P30)
[AV入力設定]	AV入力を設定する(→P30)
[MIXTRAX設定]	MIXTRAXを設定する(→P30)
[画質調整]	画像の画質を調整する(→P31)
[デモモード]	デモモードを設定する(→P32)
[リアスピーカー設定]	リアスピーカー出力を設定する(→P32)
[タイトルスクロール]	タイトルスクロールを設定する(→P32)
[カメラ極性設定]	バックカメラの極性を設定する(→P32)
[映像信号設定]	映像信号を設定する(→P32)
[放送局名選択]	放送局名を選ぶ(→P33)

■ AUX入力を設定する

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を本機のAUX入力端子に接続した場合、ONに設定します。

✎ • OFFのときはAUXソースが選択できません。

1 システム設定メニュー(→P30)の[AUX入力設定]にタッチする

タッチすることにより、On ⇄ Offが切り換わります。

■ AV入力を設定する

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を本機のAV入力端子に接続した場合、ONにします。

✎ • OFFのときはAVソースが選択できません。

1 システム設定メニュー(→P30)の[AV入力設定]にタッチする

タッチすることにより、Off ⇄ Onが切り換わります。

■ MIXTRAXを設定する

曲の再生時間やさまざまな演出効果を設定します。

1 システム設定メニュー(→P30)の[MIXTRAX設定]にタッチする



ショートプレイバックモード	曲の再生時間を設定します。 60s (60秒) ~ 180s (180秒) の範囲と、ランダムが設定できます。Offにすると、曲の最初から最後まで再生されます。
ディスプレイエフェクト	MIXTRAX専用の画面演出を行います。「On」と「Off」を切り換えます。
カットインエフェクト	手で曲を切り換えるときに効果音を出します。「On」と「Off」を切り換えます。
エフェクト設定	曲間で再生する効果音の効果設定を行います。固定効果音とエフェクト効果音の中から選択します。

ショートプレイバックモードの場合

2 [◀] / [▶] にタッチする

タッチするたびに、以下のように再生時間が切り換わります。

→ 60s ↔ 90s ↔ 120s ↔ 150s ↔ 180s ↔ ランダム ↔ Off ←

ランダムを選ぶと、曲が切り換わるたびに、次の曲の再生時間が60s ~ 180sから、ランダムに選択されます。

ディスプレイエフェクト/カットインエフェクトの場合

2 [ディスプレイエフェクト]または [カットインエフェクト]にタッチする

タッチするたびに、On ⇄ Off が切り換わります。

エフェクト設定の場合

2 [エフェクト設定]にタッチする

3 [Standard]または [Simple]にタッチする



固定効果音とエフェクト効果音が [Standard] と [Simple] にプリセットされています。

固定効果音は、あらかじめ用意された 6 つの固定音で、曲間で再生されます。エフェクト効果音は、再生中の曲の終端と、次に再生される曲の先頭でエフェクト処理します。

固定効果音

フェーザー	うねり効果がかかった固定音です。
ロール	繰り返し再生効果がかかった固定音です。
ターンテーブル	スクラッチ効果がかかった固定音です。
フランジャー 2	ジェット機の上昇、下降音のような、うねり効果がかかった固定音です。
リバーブ	残響効果がかかった効果音です。
エコー 2	反響効果がかかった効果音です。

エフェクト効果音

クロスフェード	フェードアウト、フェードインして曲を繋げます。
フランジャー 1	ジェット機の上昇、下降音のような、うねり効果をかけます。
エコー 1	反響効果をかけます。
ループ	曲の一部を繰り返し再生します。

- 各キーにプリセットされている効果音には、レ点が付いています。
- 複数の効果音は、曲間ごとにランダムに切り換わります。

効果音をプリセット登録する

お好みの効果音の組み合わせを [Custom] に登録できます。一度登録すれば、お好みの効果音を、[Custom] のタッチ操作で簡単に呼び出すことができます。

1 [Custom]にタッチする

2 お好みの効果音にタッチしてレ点を付ける

レ点が付いた効果音が、[Custom] にプリセット登録されます。

- [Standard] または [Simple] の画面選択中に効果音にタッチした場合は、自動で [Custom] の画面に切り替わり、[Custom] に登録されます。
- [レ点] にタッチすると、固定効果音が再生され、音を確認できます。

画像の画質を調整する

各ソースおよびバックカメラ画像の画質を調整します。

1 システム設定メニュー (→P30) の [画質調整] にタッチする

2 調整したい項目にタッチする



- カメラによっては調整できない場合があります。
- 映像信号設定が「NTSC」以外は、色合いの調整はできません。
- [リアビュー] にタッチすると、バックカメラの画質調整メニューに切り換わります。ソース画面の画質調整メニューに戻るには、[ソース] にタッチします。

3 [<] / [>] にタッチする

希望の値に調整します。

- [上] / [下] にタッチすると、調整項目が切り換わります。

黒の濃さ	明暗を調整します。 -24 (暗) ~ +24 (明) の範囲で調整できます。
コントラスト	白黒の差を調整します。 -24 (差が減少) ~ +24 (差が増大) の範囲で調整できます。

色の濃さ	濃淡を調整します。 - 24 (淡) ~ + 24 (濃) の範囲で調整できます。
色合い	赤色と緑色のバランスを調整します。 - 24 (赤) ~ + 24 (緑) の範囲で調整できます。
明るさ	周囲の明るさに合わせた明るさの調整をします。 +1 (暗) ~ + 48 (明) の範囲で調整できます。
色温度	暖色系と寒色系のバランスを調整します。 - 3 (暖色系) ~ + 3 (寒色系) の範囲で調整できます。

- 運転中は画質調整の操作はできません。
- 黒の濃さ、コントラスト、明るさは、イルミネーションの ON/OFF に応じ、個別に設定ができます。

■ デモモードを設定する

デモを表示するか、表示しないかを設定します。

1 システム設定メニュー (→P30) の[デモモード]にタッチする

タッチするたびに、On ⇄ Off が切り換わります。

■ リアスピーカー出力を設定する

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選べます。

1 システム設定メニュー (→P30) の[リアスピーカー設定]にタッチする

タッチすることにより、フルレンジ ⇄ サブウーファーが切り換わります。

フルレンジ	フルレンジスピーカーを接続する場合
サブウーファー	サブウーファーを接続する場合 (リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続できます。)

- オーディオフォーマットによってはサブウーファー出力がされない場合があります。
- ソース OFF の状態でないと設定できません。
- オーディオ設定メニューのサブウーファーの設定を「On」にしていないと、サブウーファーの出力はされません (→ P28)。
- リアスピーカーの RCA 出力、リード線出力とも、同時に変更されます。

■ タイトルスクロールを設定する

タイトルをスクロールするか、固定するかを設定できます。

1 システム設定メニュー (→P30) の[タイトルスクロール]にタッチする

タッチすることにより、Off (固定) ⇄ On (スクロール) が切り換わります。

■ バックカメラの極性を設定する

本機にバックカメラを接続している場合に設定します。

1 システム設定メニュー (→P30) の[カメラ極性設定]にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

Off → High → Low → Off に戻る

High	車のシフトレバーを R (リバース) にしたときに、バック信号線の極性が+になる場合
Low	車のシフトレバーを R (リバース) にしたときに、バック信号線の極性が-になる場合
Off	バックカメラを装着していない場合

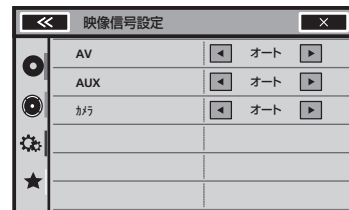
- バックカメラの映像に正しく切り換わるように、必ずバック信号線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーを R (リバース) にしても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。

■ 映像信号を設定する

RCA 映像 / 音声入力端子や AUX 入力端子に接続する外部機器やバックカメラに合わせて映像信号の設定を行います。

1 システム設定メニュー (→P30) の[映像信号設定]にタッチする

2 [◀] / [▶] にタッチする



AV、AUX、カメラのそれぞれのソースで、以下の中から選びます。

オート/PAL/NTSC/PAL-M/PAL-N/SECAM

オート	自動で設定する場合
PAL	PAL形式にする場合
NTSC	NTSC形式にする場合
PAL-M	PAL-M形式にする場合
PAL-N	PAL-N形式にする場合
SECAM	SECAM形式にする場合

■放送局名を選ぶ

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は異なります。受信している放送局名と表示されている放送局名が異なる場合に、放送局名の表示を変更できます。

1 システム設定メニュー(→P30)の[放送局名選択]にタッチする

2 放送局名一覧から、放送局名を [◀] / [▶] で選ぶ

選んだ放送局名に変更されます。



- 本機に登録されていない放送局名は表示できません。
- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていない場合、「データなし」と表示されます。

デザイン設定

壁紙やイルミネーションの設定など、画面のカスタマイズを行います。

デザイン設定メニューを表示する

1 ホーム画面(→P9)の[デザイン]にタッチする

デザイン設定画面が表示されます。

[壁紙]	音楽などを聴いているときのモニター表示を、さまざまな表示に切り換える(→P33)
[イルミネーション]	ボタンのイルミネーション色を変更する(→P33)
[メニューデザイン]	画面の色を変更する(→P33)

■壁紙を設定する

1 デザイン設定メニュー(→P33)の[壁紙]にタッチする

2 好みのタッチキーに長くタッチして、壁紙を切り換える

4種類の静止画、2種類の動画、キャプチャー画像、スเปアナ、時計表示から選択できます。





- 隠れているタッチキーを表示するには、タッチキーをタッチしながらスライドします。
- キャプチャー画像を選択するには、画像のキャプチャー操作が必要です(→P20)。

■ボタンのイルミネーションを設定する

1 デザイン設定メニュー(→P33)の[イルミネーション]にタッチする

5種類の固定色、カスタムカラー、レインボーから選択できます。

[]	タッチするとカラーバーが表示されます。[<] / [>] で希望の色を選択します。
[]	タッチすると色が自動で切りかわります。再度タッチすると、その時点の色が固定されます。

■メニューデザインを設定する

1 デザイン設定メニュー(→P33)の[メニューデザイン]にタッチする

5種類の色から選択できます。

接続・取り付け

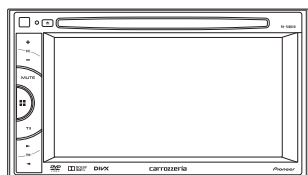
接続・取り付け上のご注意

- 接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- 車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続・取り付け部品を確認する

■ 本体関係

本体 × 1



トラスネジ (5 mm × 8 mm) × 6



皿ネジ (5 mm × 9 mm) × 6



■ コード関係

電源コード × 1



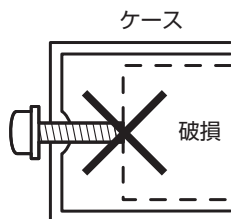
USB 接続ケーブル × 1



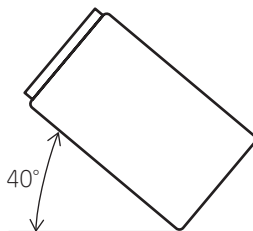
取り付けの前に知ってほしいこと

■ 取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できずに外れたりして危険です。



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して40度以内の角度で取り付けてください。



■ 取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けてください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

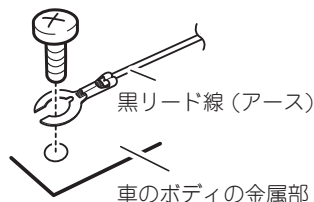
取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチに ACC が無い車では使用できません。必ず、エンジンスイッチに ACC がある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプには BPTL という回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナプースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオが ON にならないと、プースターが ON にならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ 接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコード、および電源リード線などと束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

電源配線キットを別売しています

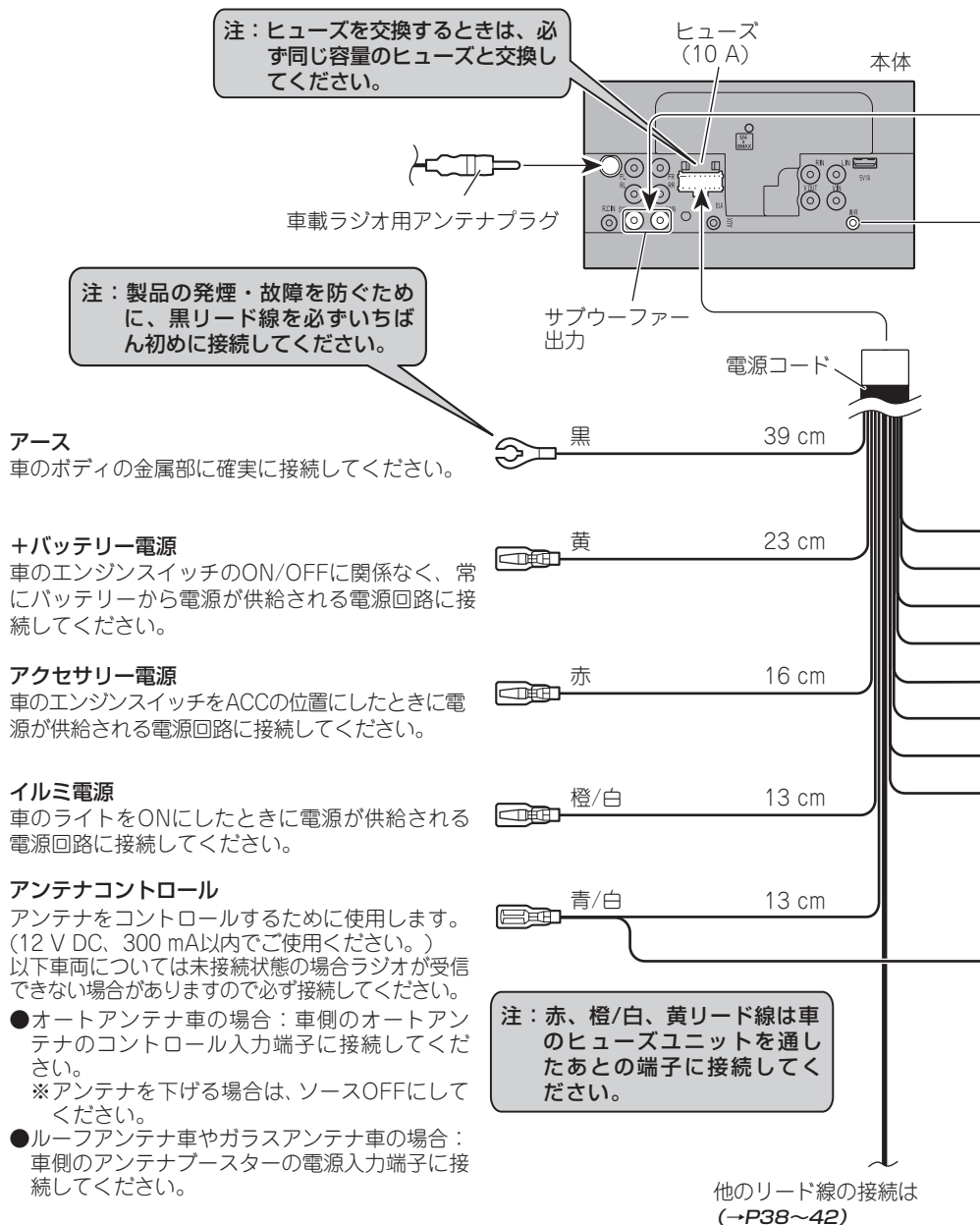
- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源を取ることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

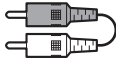
■ コネクター着脱のポイント

- コネクターは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

システムの接続 (1)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



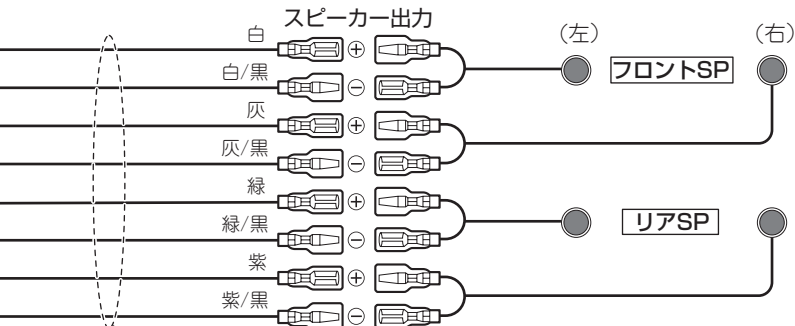


ステアリングリモコンアダプター接続端子

別売のステアリングリモコンアダプターを接続します。

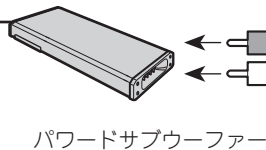
市販のRCAオーディオコード
(赤・白)

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には何も接続しないでください。



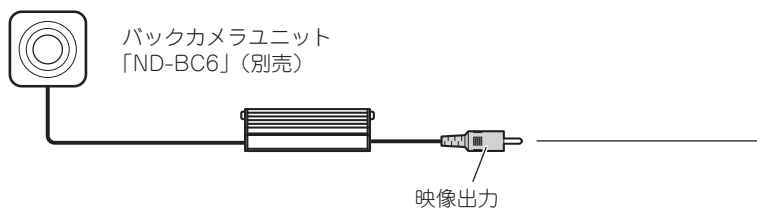
システムリモートコントロール

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)



システムの接続 (2)

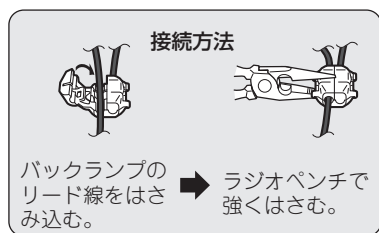
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



バック信号入力

この接続は車の前進/後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

※別売のバックカメラユニットを接続し、シフトレバーをリバースの位置にしたときに自動でバックカメラ映像へ切り換える場合は必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に自動で切り換わりません。

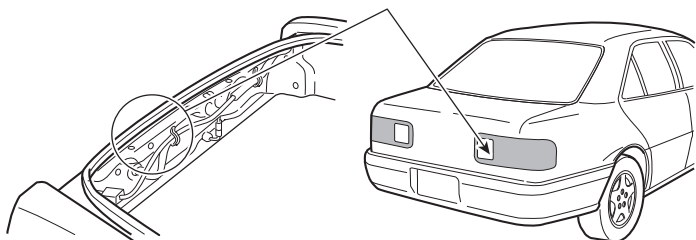


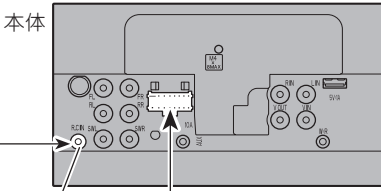
紫/白 8 m

注：電源リード線の、ヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

バックランプ(シフトレバーがリバース「R」のときに点灯するランプ)の位置を確認し、トランク内から、バックランプのリード線を取り出します。

バックランプのリード線





バックカメラ入力
(黄)



電源コード

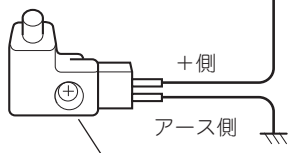
他のリード線の接続は
(→P36~37,40~42)

パーキングブレーキコード

車が停車していることを確認するために使用
します。必ずパーキングブレーキスイッチの
+側リード線に接続してください。

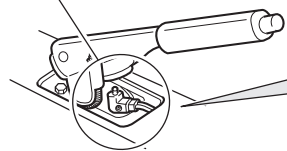
2 m 若草色

パーキングブレーキスイッチ



接続方法

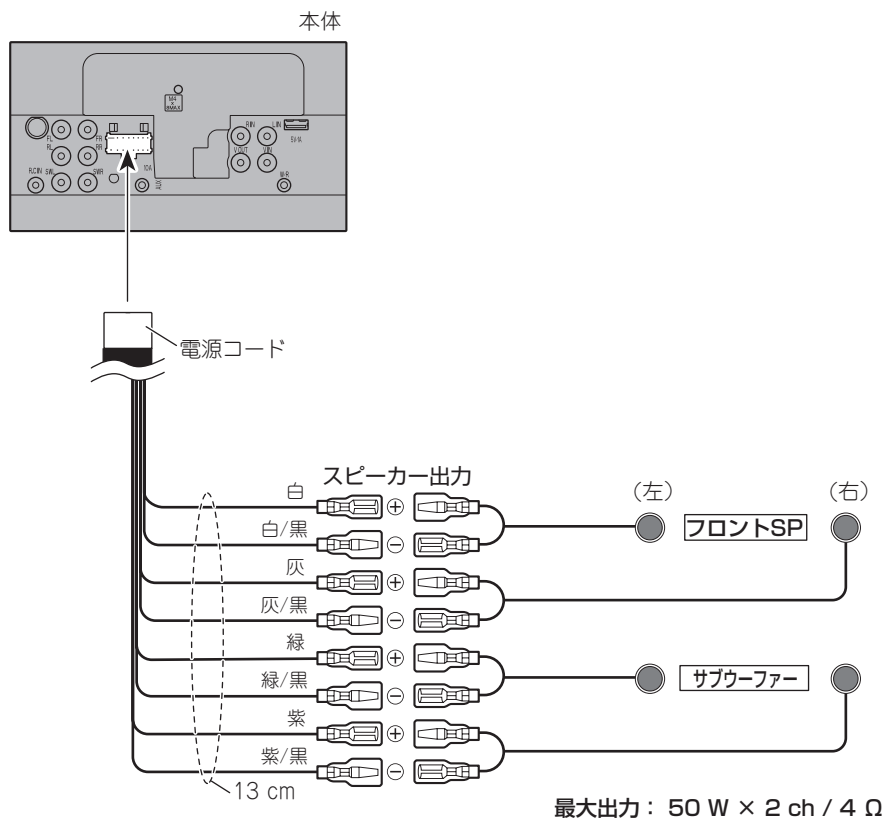
パーキングブレーキ
スイッチの+側リー
ド線をはさみ込む。 → ラジオペンチで
強くはさむ。



パーキングブレーキスイッチの位置は、
車種によって異なります。詳しくはお買
い上げの販売店にご相談ください。

リアスピーカー出力にサブウーファーを接続する①

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

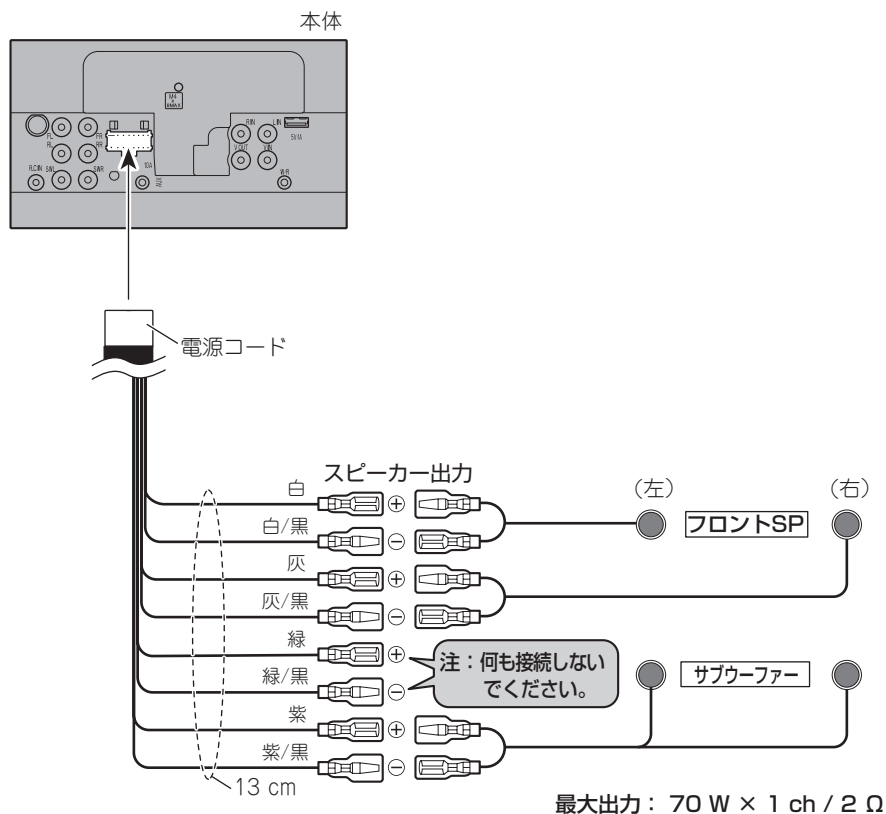


上記の接続例は、4 Ωのサブウーファー 2 個を 2 ch/4 Ωとして使用しています。

- 本機のリアスピーカー端子にサブウーファーを接続したときは、システム設定メニューの「リアスピーカー設定」を「サブウーファー」に設定してください (→ P32)。また、オーディオ設定メニューの「サブウーファー」を「On」に設定してください (→ P28)。

リアスピーカー出力にサブウーファーを接続する②

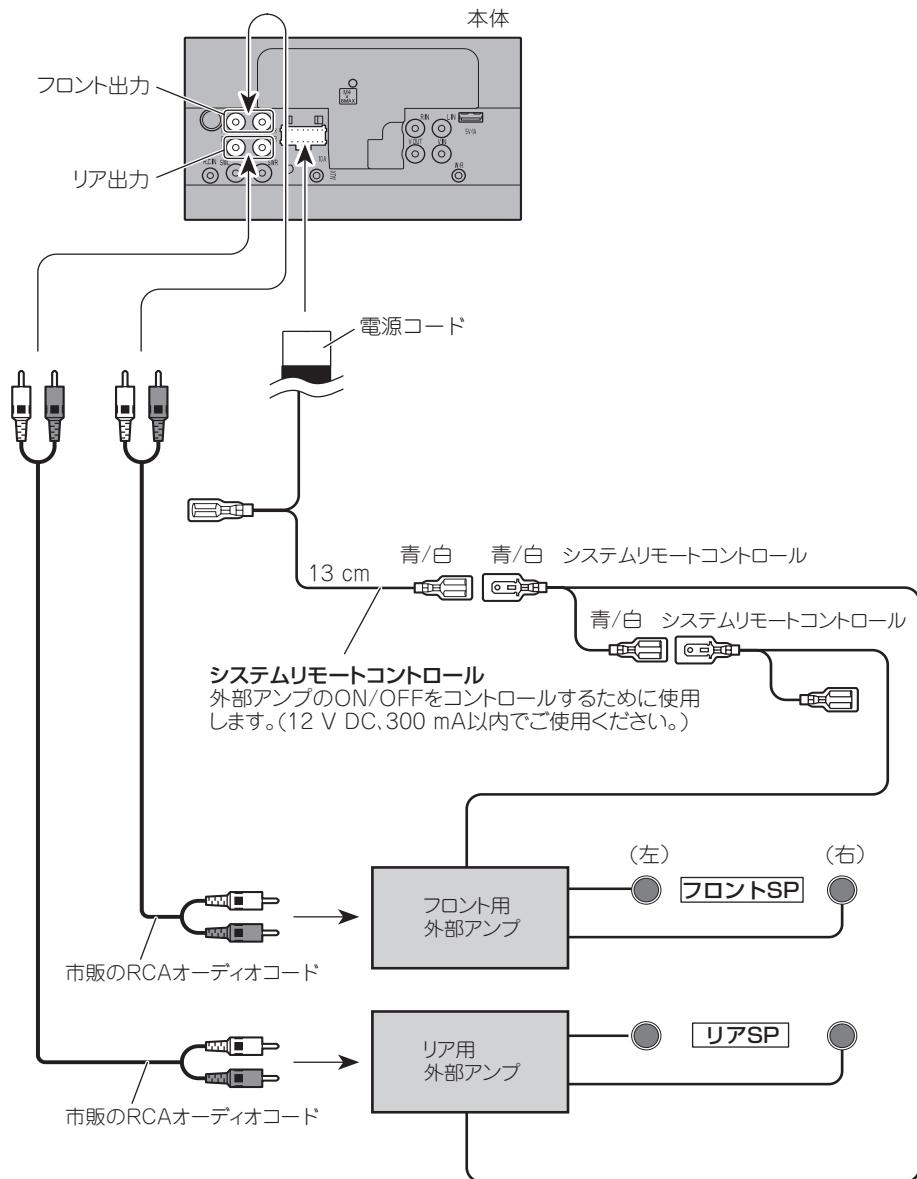
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



- 上記の接続例は、4 Ωのサブウーファー2個を並列接続して1 ch/2 Ωとして使用しています。
- 本機のリアスピーカー端子にサブウーファーを接続したときは、システム設定メニューの「リアスピーカー設定」を「サブウーファー」に設定してください (→ P32)。また、オーディオ設定メニューの「サブウーファー」を「On」に設定してください (→ P28)。

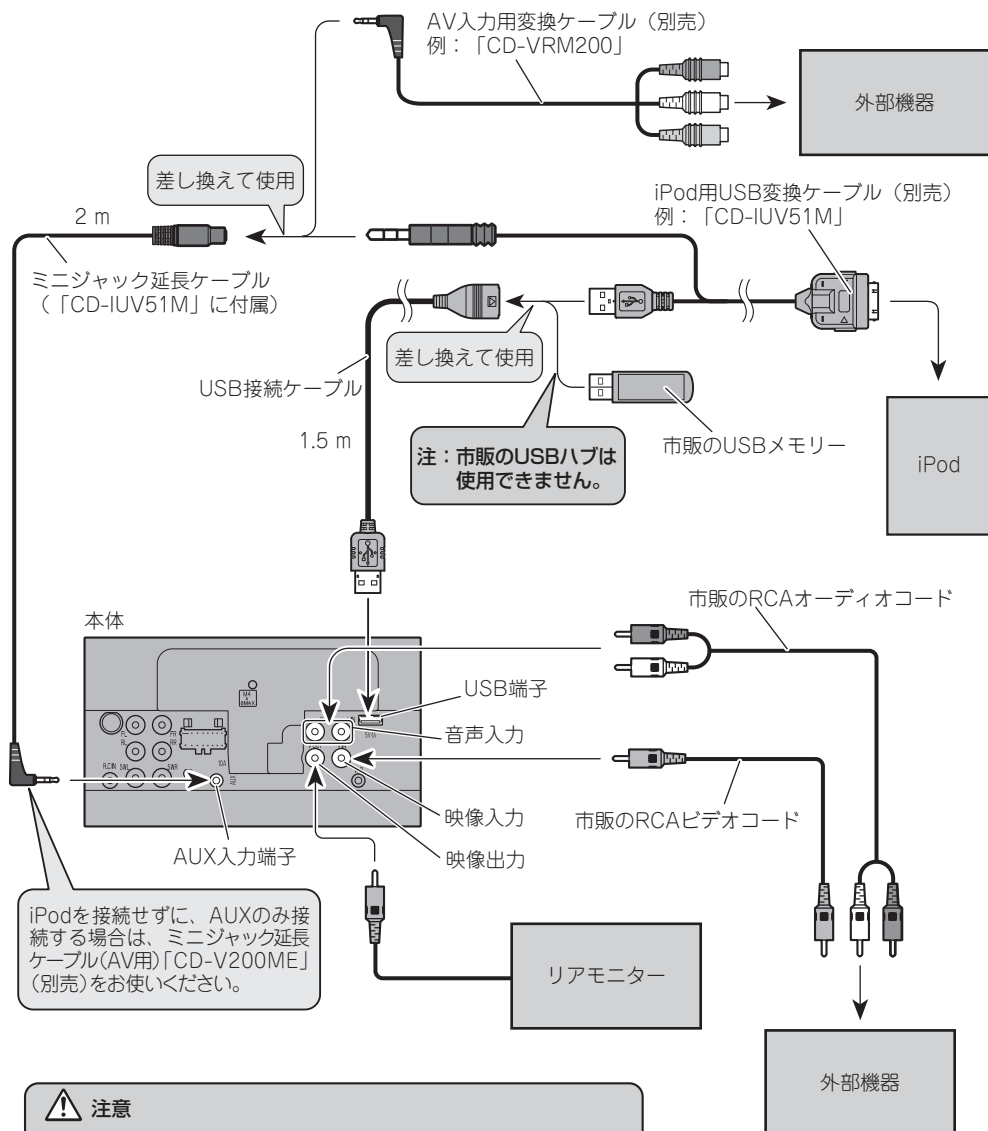
外部アンプの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



外部映像機器・iPod・リアモニターの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



● 本機に外部映像機器を接続したときは、システム設定メニューの「AV 入力設定」を「On」に設定してください(→P30)。

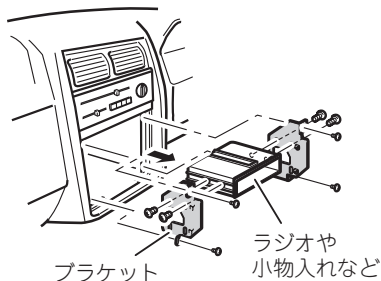
本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）です。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



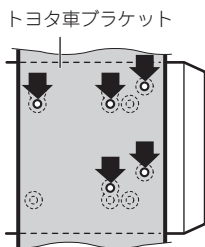
- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ留めする位置を確認する

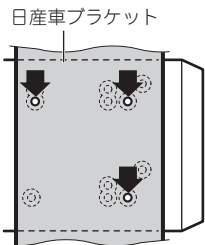
ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合

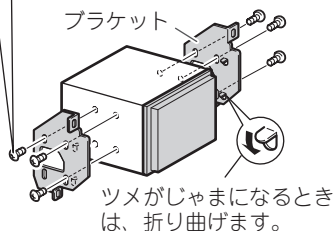
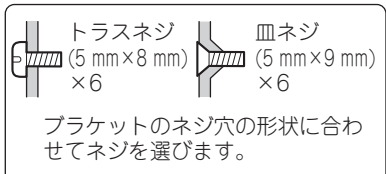


日産車の場合



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ3カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見ても確認してください。

2 車のエンジンをかける

3 本機の動作を確認する

再生可能なメディアとファイルについて

フォーマット	拡張子	対応メディア		
		CD-R/RW	DVD-R/RW	USB
WMA	.wma	○	○	○
MP3	.mp3	○	○	○
AAC	.m4a	○	○	○
WAV	.wav	×	×	○
DivX	.avi/.divx	○	○	○
JPEG	.jpg/.jpeg/.jpe	×	×	○
MPEG	.avi	○	○	○

WMA とは？ 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードできます。

MP3 とは？ 「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3 は、音声データを元のデータの約 1/10 のサイズに圧縮できます。

AAC とは？ 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

WAV とは？ 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

DivX とは？ DivX® は、Rovi Corporation の子会社である DivX, LLC が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivX ビデオの再生に対応した正規の DivX Certified®（DivX 認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルを DivX 形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.com をご覧ください。

JPEG とは？ 「Joint Photographic Expert Group」の略で、画像圧縮技術に関する基本フォーマットです。

MPEG とは？ 「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVD では、この方式でデジタル音声を圧縮して記録している場合もあります。

コーデック	フォーマット			
	WMA	MP3	AAC	WAV
サンプリング周波数	32 kHz ~ 48 kHz	8 kHz ~ 48 kHz*	11.025 kHz ~ 48 kHz	16 kHz ~ 48 kHz (LPCM 形式) 22.05 kHz ~ 44.1 kHz (MS ADPSM 形式)
ビットレート	CBR	48 kbps ~ 320 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	16 kbps ~ 320 kbps
	VBR	対応	対応	対応

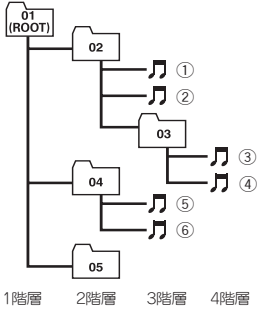
※サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応。

- ✎ ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ✎ ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- ✎ 本機で画像データを含む WMA/AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ✎ この製品は、以下の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio Professional (5.1 ch)
 - Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio Voice
- ✎ 曲間（トラック間）にブランクがない CD を、WMA/MP3/AAC/WAV ファイルとしてディスクに記録して再生した場合、曲間が音飛びのように聞こえます。
- ✎ ID3 tag の Ver. 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver. 2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。
- ✎ m3u のプレイリストには対応していません。
- ✎ MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ✎ iTunes Store で購入された楽曲 (.m4p) は、CD-R/CD-RW または USB 機器に記録して再生できません。
- ✎ パーティションを作った USB メモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- ✎ 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。

- 本機は、次の形式には対応していません。
 - Apple ロスレス・エンコーダ
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- DivX Ultra と DivX plus HD format には対応していません。
- 映像データが収録されていないファイルは、DivX ファイルと認識できません。
- DivX ファイル内の構成により、特殊再生などが禁止されることがあります。
- DivX のパートナーサイト以外からダウンロードした DivX ファイルの再生は保証していません。
- 本機では、最大で 1 590 分 43 秒の DivX ファイルの表示に対応しています。
- 4 GB を超えるファイルの場合、ファイルの途中までしか再生しません。

■ メディア内のフォルダー構成について

- メディア内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。(USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります。)



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、①~⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 1. パソコンで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 2. それらのファイルをフォルダーに入れる。
 3. フォルダー単位でメディアにコピーする。
 ただしパソコンの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。

- WMA/MP3/AAC/WAV ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの WMA/MP3/AAC/WAV ファイルの再生に対応しています。ただし階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下の通りです。
 - CD-R/RW：最大 99 フォルダー、最大 999 ファイル
 - DVD-R/RW：最大 700 フォルダー、最大 3 500 ファイル
 - USB：最大 1 500 フォルダー、最大 15 000 ファイル

■ DivX ビデオオンデマンドについて

- DivX ビデオオンデマンド (VOD) コンテンツを再生するには、この DivX Certified® (DivX 認証) デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューの DivX VOD セクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.com をご覧ください。
- DivX VOD ファイルのうち、DRM レンタルファイルを再生している場合は、再生選択後から実際に再生が始まるまでの間、操作できません。

■ JPEG ファイルについて

解像度が 8 192 × 7 680 までのベースライン JPEG と、EXIF2.1 に対応しています (EXIF 形式は、デジタルカメラで一般的に使用されているファイル形式です)。

- パソコンで加工された EXIF ファイルは、再生できないことがあります。
- プログレッシブ JPEG の再生には対応していません。

ディスクについて

■取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面（虹色に光っている面）を触らないように持ってください。
- ディスクにキズを付けしないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクに市販のラベルなどを貼りつけしないでください。
 - ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。



製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に美使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

■保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。
 - 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。
- ディスクが反らないように、必ずケースに入れて保管してください。

■ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができなくなることがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が動き、ディスク再生が停止します。

■使用できないディスクについて

- 以下のようなディスクは使用しないでください。ディス

クによっては、挿入または取出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。

- DualDisc
- 8 cm ディスク（アダプター装着時も含む）
- CD 規格外ディスク
- ひび、キズ、反りのある CD



- 特殊形状のディスク
- シールなどを貼ったディスク



■再生できないディスクについて

- 以下のようなディスクは、再生できないことがあります。
 - 音楽用 CD レコーダーまたはパソコンで記録したディスク
 - ファイナライズされていないディスク
 - パケットライトで記録されたディスク
 - ハイビジョン画質（AVCHD 規格）で記録されたディスク
 - NTSC（日本のテレビ方式）以外の方式で記録された DVD
 - リージョン番号が「2」や「ALL」以外の DVD
 - レイヤージャンプレコーディング方式で記録された DVD
 - DVD-ROM/RAM ディスク
 - ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠していない CD-R/RW/ROM ディスク
 - UDF1.02 および ISO9660 のレベル 1、レベル 2 に準拠していない DVD-R/RW/ROM ディスク

■DVD に表示されているマークの意味

DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表します。
	再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。



- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- DVD ビデオディスクによっては、再生できない場合があります。

■ DVD-VR について

以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で記録された DVD-R/RW ディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

USB 機器について

- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせで使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■ 本機との接続について

- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外 (USB 扇風機など) は接続しないでください。
- USB 機器を本機に接続する際は、付属の USB 接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USB ハブを使用しての接続には対応していません。

■ 保管上のご注意

- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPod について

■ 本機が対応する iPod

- 本機は以下の iPod に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

Made for

- 第 4 世代 iPod touch : Ver. 5.1.1
- 第 3 世代 iPod touch : Ver. 5.1.1
- 第 2 世代 iPod touch : Ver. 4.2.1
- 第 1 世代 iPod touch : Ver. 3.1.3
- iPod classic 160G : Ver. 2.0.4
- iPod classic 120G : Ver. 2.0.1
- iPod classic : Ver. 1.1.2
- iPod 第 5 世代 : Ver. 1.3
- 第 6 世代 iPod nano : Ver. 1.2
- 第 5 世代 iPod nano : Ver. 1.0.2
- 第 4 世代 iPod nano : Ver. 1.0.4
- 第 3 世代 iPod nano : Ver. 1.1.3
- 第 2 世代 iPod nano : Ver. 1.1.3
- 第 1 世代 iPod nano : Ver. 1.3.1
- iPhone 4S : Ver. 5.1.1
- iPhone 4 : Ver. 5.1.1
- iPhone 3GS : Ver. 5.1.1
- iPhone 3G : Ver. 4.2.1
- iPhone : Ver. 3.1.2

- 以下の iPod では、App モード (→ P22) は使用できません。
 - iPod 第 5 世代
 - 第 1 世代 iPod nano
- 最新の情報についてはカロッツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) でご確認ください。
- 操作方法は、iPod の世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- iPod を接続するには、iPod 用 USB 交換ケーブル (例: TCD-IUV51M) が必要です。



- iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせで使用する場合、iPod は必ず固定してください。iPod が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPod の取り扱いについて詳しくは、iPod の説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせで使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

■ iPod の設定について

- 音質効果を最適にするために、iPod が接続されると、本機は iPod の EQ 設定を自動的に OFF に変更します。取り外すと、設定は自動的に元に戻ります。
- iPod を本機に接続している場合、App モード中以外では、iPod のリピートは OFF に設定できません。また、iPod のリピートが OFF に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「ALL」に変更されます。

液晶画面の正しい使いかた

■ 取り扱い上のご注意

- ・市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- ・液晶画面は指定温度範囲内でお使いください(→P59)。
- ・直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障するおそれがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- ・液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障するおそれがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- ・キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

■ 液晶画面について

- ・液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出る場合があります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- ・液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- ・周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

■ LED バックライトについて

- ・真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED 保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- ・LED バックライトの寿命は 1 万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- ・LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ沖縄サービス認定店)にご連絡ください。

■ お手入れについて

- ・液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- ・液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- ・濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

言語コード

言語名(言語コード)入力コード

アファル語(aa)0101 / アブハズ語(ab)0102 / アヴェスター語(ae)0105 / アフリカンス語(af)0106 / アカン語(ak)0111 / アムハラ語(am)0113 / アラゴン語(an)0114 / アラビア語(ar)0118 / アッサム語(as)0119 / アヴァール語(av)0122 / アイマラ語(ay)0125 / アゼルバイジャン語(az)0126 / バシキール語(ba)0201 / ベラルーシ語(be)0205 / ブルガリア語(bg)0207 / ビハール語(bh)0208 / ビスラマ語(bi)0209 / バンバラ語(bm)0213 / ベンガル語(bn)0214 / チベット語(bo)0215 / ブルトン語(br)0218 / ボスニア語(bs)0219 / カタロニア語、バレンシア語(ca)0301 / チェチェン語(ce)0305 / チャモロ語(ch)0308 / コルシカ語(co)0315 / クリー語(cr)0318 / チェコ語(cs)0319 / 古代教会スラブ語(cu)0321 / チュバシ語(cv)0322 / ウェールズ語(cy)0325 / デンマーク語(da)0401 / ドイツ語(de)0405 / ディベヒ語、モルジブ語(dv)0422 / ソンカ語(dz)0426 / エウエ語(ee)0505 / ギリシャ語(el)0512 / 英語(en)0514 / エスペラント語(eo)0515 / スペイン語、キャステリャ語(es)0519 / エストニア語(et)0520 / バスク語(eu)0521 / ペルシア語(fa)0601 / フラ語(ff)0606 / フィンランド語(fi)0609 / フィジー語(fj)0610 / フェロー語(fo)0615 / フランス語(fr)0618 / フリジア語(fy)0625 / アイランド語(ga)0701 / ゲール語、スコットランドゲール語(gd)0704 / ガリシア語(gl)0712 / グアラニ語(gn)0714 / グジャラート語(gu)0721 / マン島語(gv)0722 / ハウサ語(ha)0801 / ヘブライ語(he)0805 / ヒンディー語(hi)0809 / ヒリ・モトゥ語(ho)0815 / クロアチア語(hr)0818 / ハイチ語、ハイチクレオール語(ht)0820 / ハンガリー語(hu)0821 / アルメニア語(hy)0825 / ヘロロ語(hz)0826 / インターリングア、国際語(ia)0901 / インドネシア語(id)0904 / インターリング、オクツイデンタル(ie)0905 / イボ語(ig)0907 / 四川彝語(シセンイ語)、ロロ語(ii)0909 / イヌピアック語(ik)0911 / イド語(io)0915 / アイスランド語(is)0919 / イタリア語(it)0920 / イヌクティトゥット語(iu)0921 / 日本語(ja)1001 / ジャワ語(jv)1022 / グルジア語(ka)1101 / コンゴ語(kg)1107 / キクユ語(ki)1109 / クワニャマ語(kj)1110 / カザフ語(kk)1111 / グリーンランド語(kl)1112 / クメール語、カンボジア語(km)1113 / カナダ語(kn)1114 / 韓国語、朝鮮語(ko)1115 / カヌリ語(kr)1118 / カシミール語(ks)1119 / クルド語(ku)1121 / コミ語(kv)1122 / コーンウォール語(kw)1123 / キルギス語(ky)1125 / ラテン語(la)1201 / ルクセンブルグ語(lb)1202 / ガンダ語(lg)1207 / リンブルフ語、リンブルグ語(li)1209 / リンガラ語(ln)1214 / ラーオ語、ラオス語(lo)1215 / リトアニア語(lt)1220 / ルバ語、ルバカタンガ語(lu)1221 / ラトビア語(lv)1222 /

マダガスカル語 (mg)1307 / マーシャル語 (mh)1308
/ マオリ語 (mi)1309 / マケドニア語 (mk)1311 / マ
ラヤーラム語 (ml)1312 / モンゴル語 (mn)1314 /
マラティー語 (mr)1318 / マレー語 (ms)1319 / マ
ルタ語 (mt)1320 / ビルマ語 (my)1325 / ナウル語
(na)1401 / ブークモール・ノルウェー語 (nb)1402 /
北ンデベレ語 (nd)1404 / ネパール語 (ne)1405 / ンド
ンガ語 (ng)1407 / オランダ語、フランドル語 (nl)1412
/ ニーノシュク・ノルウェー語 (nn)1414 / ノルウェー
語 (no)1415 / 南ンデベレ語 (nr)1418 / ナバホ語
(nv)1422 / チェワ語、ニャンジャ語 (ny)1425 / オク
ク語、プロバンス語 (oc)1503 / オジブワ語 (oj)1510
/ オロモ語 (om)1513 / オリヤー語 (or)1518 / オ
セット語 (os)1519 / パンジャブ語 (pa)1601 / パー
リ語 (pi)1609 / ポーランド語 (pl)1612 / パシュトー
語 (ps)1619 / ポルトガル語 (pt)1620 / ケチュア
語 (qu)1721 / ロマンシュ語 (rm)1813 / ルンディ
語 (rn)1814 / ルーマニア語、モルダビア語、モルド
バ語 (ro)1815 / ロシア語 (ru)1821 / キニヤルワン
ダ語 (rw)1823 / サンスクリット語 (sa)1901 / サル
デーニャ語 (sc)1903 / シンド語 (sd)1904 / 北サー
ミ語 (se)1905 / サンゴ語 (sg)1907 / シンハラ語
(si)1909 / スロバキア語 (sk)1911 / スロベニア語
(sl)1912 / サモア語 (sm)1913 / ショナ語 (sn)1914
/ ソマリ語 (so)1915 / アルバニア語 (sq)1917 /
セルビア語 (sr)1918 / シスワティ語 (ss)1919 / 南
ソト語 (st)1920 / スンダ語 (su)1921 / スウェーデ
ン語 (sv)1922 / スワヒリ語 (sw)1923 / タミル語
(ta)2001 / テルグ語 (te)2005 / タジク語 (tg)2007
/ タイ語 (th)2008 / ティグリニャ語 (ti)2009 /
トルクメン語 (tk)2011 / タガログ語 (tl)2012 /
ツワナ語 (tn)2014 / トンガ語 (to)2015 / トルコ
語 (tr)2018 / ツォンガ語 (ts)2019 / タタール語
(tt)2020 / トウィ語 (tw)2023 / タヒチ語 (ty)2025
/ ウィグル語 (ug)2107 / ウクライナ語 (uk)2111 /
ウルドゥー語 (ur)2118 / ウズベク語 (uz)2126 /
ヴェンダ語 (ve)2205 / ベトナム語 (vi)2209 / ボ
ラビュク語 (vo)2215 / フロン語 (wa)2301 / ウォ
ロフ語 (wo)2315 / コーサ語 (xh)2408 / イディッ
シュ語 (yi)2509 / ヨルバ語 (yo)2515 / 壮語 (チ
ワン語) (za)2601 / 中国語 (zh)2608 / ズールー語
(zu)2621

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(→ P57) をお読みになり、修理を依頼してください。

■ 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください(→ P36,37)。
	ヒューズが切れている。	切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください(→ P36)。
電源を入れると、バックカメラの映像が表示される。 車のシフトレバーをバックに入 れるとバックカメラの映像が消 える。	バックカメラの極性が合っていない。	システム設定の「バックカメラ極性設定」を「Low」に設定してください(→ P32)。
ディスクを再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください(→ P47)。
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。
音が出ない。	音量を下げている。	音量を調節してください(→ P8)。
	ミュートがONになっている。	ミュートを解除してください(→ P8)。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→ P27)。
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください(→ P36,37)。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→ P27)。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→ P27)。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。 パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください(→ P39)。
Ⓢ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。ディスクの構成上対応できない操作をしている。 キー操作が無効な操作をしている。	この操作はできません。
音や映像が途切れる。	本機が確実に固定されていない。	本機を確実に固定してください。

症状	原因	処置
画面が伸びる、アスペクトが合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。
エンジンスイッチを ON または ACC にすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認していません。	正常な動作です。

■ ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。 放送局の電波が弱い。	周波数を正しく合わせてください (→ P16)。 他の放送局を選局してみてください (→ P16)。
自動選局できない。	周りに障害物があるなど、受信状態がよくない。 放送局の電波が弱い。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。 手で選局してください (→ P16)。
FM は受信するが、AM が受信できない。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください (→ P36)。
受信感が悪い。	自動車のアンテナがのびていない。	アンテナを確実に伸ばしてください。

■ DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	本機が対応していない方式のディスクを挿入している。 本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	NTSC 方式のディスクに交換してください。 本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生ができない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください (→ P25)。
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。 暗証番号を忘れてしまった。	正しい暗証番号を入力してください (→ P25)。 リセットボタンを押してください (→ P8)。
音声 (または字幕) 言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください (→ P8)。
字幕が出ない。	字幕が収録されていない DVD を再生している。 ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	字幕が収録されていない DVD では、字幕を表示できません。 ディスクのメニューで切り換えてください (→ P18)。
ビデオ設定メニューで選んだ音声言語、字幕言語にならない。	ビデオ設定メニューで選んだ言語が収録されていない DVD を再生している。	ビデオ設定メニューで選んだ言語が収録されていない DVD では、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていない DVD を再生している。 複数のアングルが収録されていない場面	複数のアングルが収録されていない DVD では、切り換えできません。 複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

症状	原因	処置
ディスク再生中に映像が乱れる。映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。

■ビデオ CD

症状	原因	処置
メニュー画面が表示されたまま再生できない。	PBC の付いているビデオ CD を再生している。	PBC の付いているビデオ CD は再生できません。

■CD

症状	原因	処置
CD 再生中、大きな雑音が出る。CD の再生が途中で止まる。CD が自動的に出てくる。	CD に大きなキズやそりがある。	他の CD と交換してください。よくなれば CD の不良です。
	CD が極端に汚れている。	CD の汚れをふき取ってください (→ P47)。
	CD にくもりや水滴がついている。	CD のくもりや水滴をふき取ってください (→ P47)。
	CD の裏表を逆にセットしている。	CD のレーベル面を上にしてセットしてください (→ P10)。

■USB

症状	原因	処置
WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」を付けてください (→ P45)。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください (→ P45)。
聴きたい WMA/MP3/AAC/WAV ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」を付けてください (→ P45)。

■ iPod

症状	原因	処置
再生できない。	接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルを外し、iPod 画面にメインメニュー表示がされていることを確認後、もう一度接続してください (→ P14)。
	本機で対応していない iPod を使用している。	本機で対応している iPod を使用してください (→ P48)。

こんなメッセージが表示されたら

■ 共通項目

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「アンプエラー」	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチを OFF → ON してもメッセージが消えない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

■ ディスク

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
リージョンコードが違います	本機と異なるリージョン番号のディスクを挿入したとき。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください (→ P47)。
Error-02-XX/FF-FF	ディスクが汚れているとき。 ディスクにキズやひびがあるとき。 ディスクの裏表を逆にセットしているとき。	ディスクの汚れをふき取ってください (→ P47)。 ディスクを交換してください。 ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください (→ P10)。
	電気系、機構系の故障のとき。	車のエンジンスイッチを一度 OFF にするか、ディスクの再生を一度やめてから、もう一度再生してください。
再生できないディスクです	本機で再生できないディスクを使用しているとき。 再生できるファイルが記録されていないディスクを挿入したとき。	本機で再生できるディスクに交換してください (→ P45)。 ディスクを交換してください。
著作権保護されています	ディスク内のすべてのファイルが、デジタル著作権管理 (DRM) で保護されているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください (→ P45)。
温度異常です	本機の内部温度が高いとき。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
スキップしました	デジタル著作権管理 (DRM) で保護された WMA ファイルを再生しているとき。	デジタル著作権管理 (DRM) で保護されていないオーディオファイルを再生してください。

レンタルは終了しました	DivX VOD ファイルの視聴回数制限がオーバーしているとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
再生できない解像度です	高解像度 DivX ファイルのとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
この DivX ファイルは認証できません	DivX VOD ファイルの認証ができていないとき。	ファイルの配信元へ登録コードの認証を行ってください (→ P26)。
再生できないファイルです	ファイルが本機で再生できないとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
高フレームレートは再生できません	DivX ファイルのフレームレートが、本機で対応していない 30 fps 以上のとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
再生できない音声です	ファイルタイプが本機に対応していないとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。

■ USB 機器

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
再生出来ないファイルです	ファイルが本機で再生できないとき。 曲が入っていないとき。 セキュリティ機能付きの USB メモリーを接続したとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。 オーディオファイルを USB 機器に転送し、本機に接続してください。 USB メモリーの説明書にしたがって、セキュリティを解除してから使用してください。
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
スキップしました	WMA ファイルが Windows Media DRM 9/10 で保護されているとき。	Windows Media DRM 9/10 で保護されていないオーディオファイルを再生してください。
著作権保護されています	USB 機器内のすべてのファイルが Windows Media DRM 9/10 で保護されているとき。	保護されていないオーディオファイルを収録・保存した USB 機器を接続してください。
再生できない USB です	接続された USB 機器が本機に対応していないとき。 接続された USB 機器のフォーマットが、FAT16 か FAT32 でないと。	USB Mass Storage Class 対応の、USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB メモリーを接続してください。 フォーマットが FAT16 または FAT32 の USB 機器を接続してください (→ P60)。
USB を確認してください	USB コネクタまたは USB ケーブルがショートしたとき。 規定以上の電流を消費する USB 機器を接続したとき。	USB コネクタまたは USB ケーブルが破損していないか確認してください。 接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。次に、対応する USB 機器を接続してください。

Error-02-9X/-DX	正常に通信できないとき。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースを USB に切り換えてください。 <ul style="list-style-type: none"> 車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にする。 接続した USB 機器を一度外してから接続する。 別のソースに切り換える。
レンタルは終了しました	DivX VOD ファイルの視聴回数制限がオーバーしているとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
再生できない解像度です	高解像度 DivX ファイルのとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
この DivX ファイルは認証できません	DivX VOD ファイルの認証ができていないとき。	ファイルの配信元へ登録コードの認証を行ってください (→ P26)。
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
高フレームレートは再生できません	DivX ファイルのフレームレートが、本機で対応していない 30 fps 以上のとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
再生できない音声です	ファイルタイプが本機に対応していないとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
作成されたデータベースが無効です	データベース構築中に、ビデオメディアや JPEG 画像表示に切り換えたとき。	もう一度データベースを作成してください (→ P20)。

■ iPod

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
Error-02-6X/-9X/-DX	正常に通信できないとき。	コネクターを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクターを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
	iPod に問題が発生したとき。	コネクターを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクターを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
Error-02-67	iPod のソフトウェアバージョンが古いとき。	iPod のソフトウェアバージョンをアップデートしてください (→ P48)。
停止	曲が入っていないとき。	iPod に曲を転送し、本機に接続してください。
	選んだプレイリストに曲が入っていないとき。	曲が入っているプレイリストを選んでください。
見つかりません	検索した曲が見つからないとき。	iPod に曲を転送し、本機に接続してください。

保証書とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ、沖縄サービス認定店)にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ、沖縄サービス認定店)にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着(お取り外し・お取り付け)について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理の際の本製品のお車からの脱着サービスは弊社で承っておりません。

お車からの脱着については、お買い上げの販売店や取り付け店へご相談ください。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標・著作権など

本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ

<http://www.mp3licensing.com>

をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

iPod & iPhone



iPod, iPod classic, iPod nano, および iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

DOLBY

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DivX®

DivX®, DivX Certified®, およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporation およびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

DVD

DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは 4 : 3 ですが、ワイドモニターは 16 : 9 の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっていきます。

視聴制限 (パレンタルロック)

成人向けの内容や暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりできます。

静止画

DVD には、音声や動画だけでなく、静止画が入っている場合があります。DVD オーディオの静止画には、以下の 2 種類があります。

スライドショー

ディスクの設定に従って自動的に静止画が切り換わります。

ブラウザ用静止画

お好みの静止画を選択して表示できます。

バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルが必要な時点で、CD-R などに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1 秒あたりの情報量を表し、単位は bps (bit per second) です。この数字が大きいくほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3 と ATRAC3 のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオ CD (バージョン 2.0) に記録されている再生をコントロールするための信号です。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見たいので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。テレビ番組などでは、数台のカメラで同時に撮影した映像のうち 1 つを各家庭のテレビに送っています。もし、すべてのカメラの映像が同時に送られてくるとなれば、見たい視点の映像を見ることも可能になります。DVD には、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を自由に選べます。

マルチ音声

DVD や DivX の中には、1 枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVD や DivX では、音声を最大 8 言語 (8 ストリーム) まで記録することができ、その中からお好みの言語を選べます。

マルチ字幕 (サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVD や DivX では、1 枚のディスク (1 つのファイル) に複数の字幕を収録しているものがあります。DVD では最大 32 言語まで、DivX では最大 8 言語まで記録でき、その中からお好みの言語を選べます。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROM や CD-R、CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめた単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号

DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョン番号) が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。(本体底面に表記されています。)

リニア PCM (LPCM)

音楽 CD に用いられている信号記録方式で、「Linear Pulse Code Modulation」の略です。音楽 CD では、44.1 kHz / 16 bit で記録されているのに対し、DVD では、48 kHz / 16 bit ~ 96 kHz / 24 bit で記録されているため、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

EXIF

「Exchangeable Image File Format」の略です。富士フィルムが提唱した、デジタルカメラ用の画像ファイルの規格です。各社のデジタルカメラでの標準仕様として採用されています。画像データだけでなく、縮小画像 (サムネイル) や、画像についての情報、撮影日時などの付加情報を記録できます。

ID3 Tag

曲の関連情報を MP3 ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容は ID3 Tag 編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660 フォーマット

CD-ROM のファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660 フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル 1

ファイル名は、8.3 形式（名前は半角英大文字と半角数字、“_”で 8 文字以下、拡張子は 3 文字）で、各フォルダーの階層は 8 つ以下

レベル 2

ファイル名は、最大 31 文字（区切り文字、“.”と拡張子を含む）で、各フォルダーの階層は 8 つ以下

拡張フォーマット

Joliet : ファイル名は、最大で 64 文字

Romeo : ファイル名は、最大で 128 文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。ている場合もあります。

VBR

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的には CBR (固定ビットレート) が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VR モード

「Video Recording (ビデオレコーディング)」の略です。DVD-RW の基本記録方式で、録画または消去を繰り返せます。また、部分消去などの編集もできます。

仕様

■ 共通部

使用電源 : DC 14.4 V (12.0 V ~ 14.4 V 使用可能)

アース方式 : マイナスアース方式

最大消費電流 : 10.0 A

外形寸法

(取付寸法) : 178 (W) mm × 100 (H) mm × 165 (D) mm

(ノーズ寸法) : 171 (W) mm × 97 (H) mm × 9 (D) mm

質量 : 1.7 kg (コード含まず)

■ モニター部

画面サイズ : 6.1 型ワイドモニター

アスペクト比 : 16 : 9

有効表示面積 : 136.2 mm × 72.0 mm

画素数 : 1 152 000 画素 (2 400 × 480)

方式 : TFT アクティブマトリクス方式

カラーシステム : PAL / NTSC / PAL-M / PAL-N / SECAM 互換

保存温度範囲 : - 20°C ~ + 80°C

■ アンプ / オーディオ部

最大出力 : 50 W × 4
70 W × 1 ch / 2 Ω (サブウーファー用)

定格出力 : 22 W × 4 (50 Hz ~
15 000 Hz、5 % THD、4 Ω load、Both Channels Driven)

負荷インピーダンス : 4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω (2 Ω × 1) 使用可能)

プリアウト最大出力 2.0 W

ベル :

イコライザー (8 バンドグラフィックイコライザー)

周波数 : 40 Hz / 80 Hz / 200 Hz /
400 Hz / 1 kHz / 2.5 kHz /
8 kHz / 10 kHz

調整幅 : ± 12 dB

ハイパスフィルター

周波数 : 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz /
100 Hz / 125 Hz

スロープ : - 12 dB / oct

サブウーファー出力 (モノラル)

周波数 : 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz /
100 Hz / 125 Hz

スロープ : - 18 dB / oct

調整幅 : + 6 dB ~ - 24 dB

位相 : NORMAL / REVERSE

バスブースター

調整幅 : + 12 dB ~ 0 dB

■ DVD プレーヤー部

形式： DVD ビデオ / DVD-VR / DivX / ビデオ CD / CD / WMA / MP3 / AAC / JPEG / MPEG プレーヤー

使用ディスク： DVD ビデオ / ビデオ CD / CD / CD-R / CD-RW / DVD-R / DVD-RW / DVD-R DL

リージョン番号： 2

周波数特性： 5 Hz ~ 44 000 Hz (DVD、サンプリング周波数 96 kHz 時)

高調波歪率： 96 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク) (RCA レベル)

出力レベル (映像)： 1Vp-p / 75 Ω (± 0.2 V)

チャンネル数： 2 (ステレオ)

MP3 デコーディング MPEG-1 & MPEG-2 AUDIO
フォーマット： LAYER-3

WMA デコーディング Ver. 7、7.1、8、9、10、11、
フォーマット： 12 (2 ch オーディオ) (Windows Media Player)

AAC デコーディング MPEG-4 AAC (Ver. 10.6 以前の iTunes でエンコードされたもののみ) (.m4a)

JPEG

JPEG デコーディング .jpeg、.jpg、.jpe
フォーマット：

ピクセル 4:2:2、4:2:0

サンプリング：

デコードサイズ：最大：8 192(H) x 7 680(W)
最小：32(H) x 32(W)

DivX デコーディング Home Theater Ver.3、4、5.2、
フォーマット： 6 (Ultra と HD は除く) (.avi、.divx)

MPEG ビデオデコーディングフォーマット： MPEG1 / MPEG2 / MPEG4

■ USB 部

USB 規格： USB 1.1、USB 2.0 Full Speed (ビデオファイル用)
USB 2.0 High Speed (オーディオファイル用)

最大供給電流： 1.0 A

USB クラス： マストレージクラス

ファイルシステム： FAT16、FAT32

MP3 デコーディング MPEG-1 & MPEG-2 AUDIO
フォーマット： LAYER-3

WMA デコーディング Ver. 7、7.1、8、9、10、11、
フォーマット： 12 (2 ch オーディオ) (Windows Media Player)

AAC デコーディング MPEG-4 AAC (Ver. 10.6 以前の iTunes でエンコードされたもののみ)

WAV

WAV シグナル Linear PCM、MS ADPCM
フォーマット： (.wav)

サンプリング Linear PCM：

周波数： 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz

MS ADPCM：

22.05 kHz ~ 44.1 kHz

JPEG

JPEG デコーディング .jpeg、.jpg、.jpe
フォーマット：

ピクセル 4:2:2、4:2:0

サンプリング：

デコードサイズ：最大：8 192(H) x 7 680(W)
最小：32(H) x 32(W)

DivX デコーディング Home Theater Ver.3、4、5.2、
フォーマット： 6 (Ultra と HD は除く) (.avi、.divx)

MPEG ビデオデコーディングフォーマット： MPEG1 / MPEG2 / MPEG4

■ FM チューナー部

受信周波数帯域： 76.0 MHz ~ 90.0 MHz

実用感度： 9 dBf (0.8 μV/75 Ω、モノラル、S/N : 30 dB)

S/N : 72 dB (IHF-A ネットワーク)

■ AM チューナー部

受信周波数帯域： 522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)

実用感度： 25 μV (S/N : 20 dB)

S/N : 62 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 付属品

コードユニット： 1 式

取付ネジ類： 1 式



取扱説明書： 1

保証書： 1



- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載しているイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話  **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101**

ファックス **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100**

ファックス  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ／ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付ております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-987-1120**

ファックス **098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107**

ファックス  **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.045

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

©パイオニア株式会社 2012

<KFWZX> <12H0000> <CRA4569-B/N>